



toeic

2023

Report on  
Test Takers  
Worldwide

TOEIC<sup>®</sup>  
SPEAKING  
&  
WRITING  
TESTS



# 目次

TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケート .....	3
2023 年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴 .....	4
TOEIC® Speaking Test の国・地域別平均スコア .....	5
TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計 .....	7
性別 .....	12
学歴 .....	13
専攻科目 .....	14
就業状況 .....	15
業種 .....	16
職種 .....	19
英語学習期間 .....	20
英語学習の際に最も重要視する言語技能 .....	21
日常生活での英語使用率 .....	22
最も使用する言語能力 .....	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度 .....	24
英語圏滞在経験 .....	25
英語圏滞在目的 .....	26
TOEIC® Speaking Test の受験経験 .....	27
TOEIC® Speaking Test の受験目的 .....	28
2023 年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴 .....	29
TOEIC® Writing Test の国・地域別平均スコア .....	30
TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計 .....	32
性別 .....	37
学歴 .....	38
専攻科目 .....	39
就業状況 .....	40
業種 .....	41
職種 .....	44
英語学習期間 .....	45
英語学習の際に最も重要視する言語技能 .....	46

日常生活での英語使用率 .....	47
最も使用する言語能力 .....	48
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度.....	49
英語圏滞在経験.....	50
英語圏滞在目的.....	51
TOEIC® Writing Test の受験経験 .....	52
TOEIC® Writing Test の受験目的 .....	53
スピーキングスコアとライティングスコアの関連性.....	53
資料 A.....	54
TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケート .....	54
資料 B1.....	56
2023 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率.....	56
資料 B2.....	57
2023 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各設問の回答率.....	57
資料 C.....	58
地域別スピーキングとライティングスコアの相関 .....	58

## TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケート

TOEIC Speaking & Writing バックグラウンドアンケートは、TOEIC Speaking & Writing Tests（以下、TOEIC S&W）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、そして TOEIC S&W 受験歴についての情報を収集する自己記入式調査です。アンケートへの回答から、受験者のバックグラウンドや、受験者の TOEIC S&W のスコアと英語能力の向上に影響する要因がわかります。受験者は、TOEIC S&W を受ける前に、TOEIC S&W バックグラウンドアンケートに回答します。

TOEIC S&W バックグラウンドアンケートの設問は本資料 54,55 ページ「資料 A」を参照してください。

本報告書は、2023 年に世界において全受験者が回答した TOEIC S&W のバックグラウンドアンケート結果に基づいています。

受験者の総数は国・地域によって異なりますのでご注意ください。また、回答率も質問項目によって異なり、スピーキング（本資料 56 ページ「資料 B1」）とライティング（本資料 57 ページ「資料 B2」）では回答率にかなりの違いがありました。このため、以下のデータに基づいた推測を行う際にはご注意ください。

受験者は、TOEIC Speaking Test と TOEIC Writing Test の両方を同時に受けることも、どちらかのテストを単独で受けることもできます。本報告書は、異なる受験母集団に基づいてスピーキング、ライティングそれぞれの質問項目別にスコアに関する情報をまとめたものです。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（%）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100%を超える場合があります。また表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 50 以上のものに限定しています。

# 2023年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴

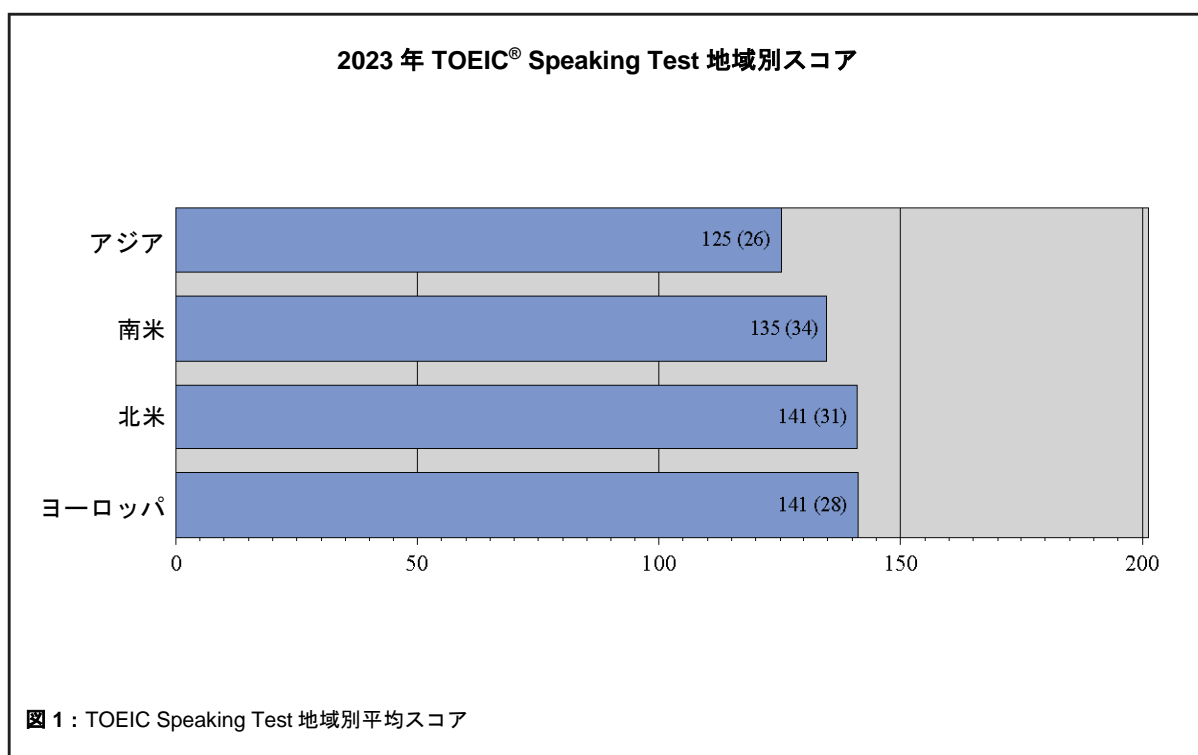
バックグラウンド情報は、公開テストまたは団体特別受験制度により2023年 TOEIC Speaking Testを受けた受験者（TOEIC Speaking TestとTOEIC Writing Testの両方を受けた受験者、TOEIC Speaking Testのみを受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC Speaking Test 受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 性別は54%が男性
- 学歴で最も多いのは大学卒または大学在学中（70%）
- 専攻で最も多いのは「工学」で39%、「教養学」が20%、「経営学」が13%
- 45%が「フルタイム勤務者」、33%が「全日制学生」
- 就業者の業種は39%が「製造業」、22%が「サービス業」
- 職種は22%が「事務職」、15%が「経営者」
- 78%が6年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重視される技能としては、37%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、37%が「1~10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、23%が「リーディング」を選択
- 47%は英語でのやりとりに「時々」苦労すると回答
- 63%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、39%が「旅行」、26%が「英語学習プログラムへの参加」を選択
- 過去の受験経験については、42%が「なし」、24%が「3回以上」と回答
- 受験目的については、50%が「就職活動のため」、20%が「昇進・昇格のため」と回答

## TOEIC® Speaking Test の国・地域別平均スコア

以下の図 1 は、地域別の TOEIC Speaking Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 1 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC Speaking Test を受験した国・地域

は、受験者の母国と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC Speaking Test 受験者が 50 名以上の国・地域のみ掲載されています。



\*注：各チャートには受験者が 50 名以上の国・地域のみ反映されています。メキシコは北米に含まれます。

表 1 : TOEIC® Speaking Test 受験者の国・地域別平均スコア

国名	スピーキング	
	平均	(SD)*
ブラジル	144	(21)
チリ	117	(39)
中華人民共和国	115	(28)
コロンビア	147	(31)
コスタリカ	144	(31)
エルサルバドル	126	(25)
フランス	145	(26)
ドイツ	161	(29)
香港	101	(40)
インドネシア	111	(39)
イタリア	148	(23)
日本	114	(32)
韓国	127	(23)
メキシコ	139	(29)
オランダ	137	(23)
フィリピン	157	(21)
シンガポール	123	(25)
スペイン	136	(29)
台湾	143	(23)
タイ	102	(33)
米国	125	(58)
ベトナム	118	(25)

\*SD=標準偏差

## TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計

表 2 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC Speaking Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC Speaking Test 平均スコアを示しています。各カテゴリーの受験者の詳細な情報は表 2 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーは TOEIC S&W バックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
性別	女性	46.3	131	(25)
	男性	53.7	125	(25)
学歴	小学校	3.2	116	(27)
	中学校	0.4	116	(33)
	高校	3.2	121	(31)
	高専	0.4	116	(29)
	専門学校	0.5	114	(32)
	短大	5.6	116	(28)
	大学	70.3	129	(23)
	大学院	12.4	129	(23)
	語学学校	4.1	126	(24)
専攻科目	教養学	19.7	131	(26)
	社会学	6.7	134	(23)
	経営学	13.1	133	(24)
	科学	7.3	127	(23)
	医療関連	3.0	131	(24)
	工学	38.7	124	(22)
	その他	11.5	124	(27)

\*SD=標準偏差



表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ一別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	44.8	125	(25)
	パートタイム勤務者	5.6	128	(28)
	非就業者	16.6	131	(22)
	全日制学生	33.0	130	(24)

業種	農業	6.4	115	(28)
	建設	3.3	122	(25)
	食品	2.0	123	(30)
	医薬品	1.6	129	(25)
	化学	4.5	123	(22)
	繊維	0.2	123	(27)
	石油	0.6	127	(27)
	金属	2.3	126	(26)
	機械	6.5	120	(23)
	電機	10.6	121	(22)
	自動車	3.6	121	(26)
	ガラス	0.1	119	(29)
	アパレル	0.7	132	(28)
	その他製造	5.9	119	(26)
	教育機関 (高校以下)	2.7	143	(26)
	教育機関 (大学以上)	1.5	141	(26)

\*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ一別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
業種 (続き)	政府／役所／公益団体	1.1	135 (23)
	国際団体	0.3	140 (25)
	軍隊／自衛隊	2.0	130 (23)
	医療	2.4	131 (23)
	旅行	4.1	129 (25)
	その他サービス	7.8	129 (25)
	公共事業 (電気／ガス)	2.9	128 (22)
	マスコミ	1.0	135 (26)
	通信	3.3	124 (21)
	小売／卸し	1.0	128 (28)
	商社	2.3	132 (28)
	金融	3.6	132 (24)
	保険	0.4	128 (27)
	不動産	0.3	130 (25)
	運輸	1.3	131 (27)
	その他	13.6	124 (27)
職種	経営者	14.5	124 (27)
	科学／技術職	13.8	123 (23)
	教師／講師	4.1	142 (28)
	専門職	2.9	133 (26)
	技術者	13.9	120 (24)
	マーケティング／販売	6.9	128 (26)
	事務職	21.9	125 (25)
	サービス業	9.6	129 (24)
	その他	12.4	125 (27)
英語学習期間	4年以下	12.6	115 (28)
	4年超～6年	9.5	123 (25)
	6年超～10年	22.3	126 (23)
	10年超	55.6	132 (23)

\*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング	9.1	121	(27)
	リーディング	4.5	126	(26)
	スピーキング	18.1	127	(23)
	ライティング	0.7	129	(31)
	リスニング&スピーキング	28.1	126	(23)
	リーディング&ライティング	2.2	132	(28)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	37.2	131	(24)
日常生活での英語使用率	なし	10.4	121	(27)
	1~10%	37.1	125	(24)
	11~20%	29.7	128	(23)
	21~50%	16.6	133	(24)
	51~100%	6.2	139	(27)
最も使用する英語技能	リスニング	13.1	124	(27)
	リーディング	23.0	128	(24)
	スピーキング	13.3	126	(24)
	ライティング	2.7	126	(27)
	リスニング&スピーキング	19.3	127	(24)
	リーディング&ライティング	9.9	130	(24)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	18.8	131	(25)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	8.4	130	(33)
	あまりない	14.3	136	(26)
	時々	46.6	130	(22)
	頻繁にある	21.1	123	(21)
	ほぼ常時	9.6	115	(25)

\*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ一別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	63.2	125 (24)
	6 ヶ月未満	22.1	129 (23)
	6 ヶ月～12 ヶ月	6.5	134 (23)
	1 年～2 年	3.2	141 (24)
	2 年超	5.0	146 (27)
英語圏滞在目的	進学のため	12.5	149 (26)
	英語学習プログラム参加のため	25.5	135 (22)
	旅行のため	38.6	128 (22)
	仕事のため	15.5	125 (24)
	その他	7.9	141 (28)
TOEIC S&W 受験回数	なし	42.2	128 (27)
	1 回	22.2	129 (24)
	2 回	11.4	128 (23)
	3 回以上	24.2	125 (22)
TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	50.2	130 (23)
	昇進・昇格のため	19.9	121 (25)
	英語学習プログラムの結果を測るため	4.9	129 (25)
	英語学習のため	11.8	130 (26)
	卒業に必要なため	13.2	127 (25)
	ビザ取得のため	0.0**	135 (30)

\*SD=標準偏差

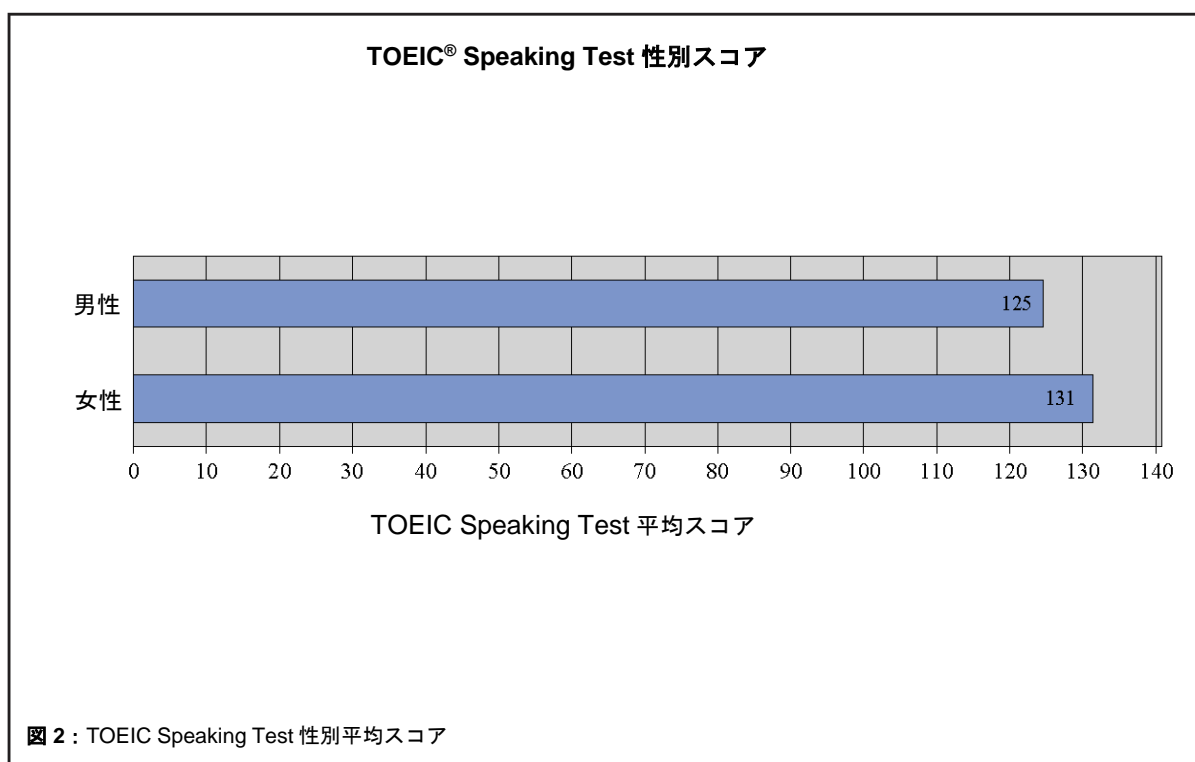
\*\*注: 「ビザ取得のため」と答えた受験者の割合は、0.0334%を丸めた数値となっています。

## 性別

全体として、TOEIC Speaking Test 受験者は男性の割合が高くなっています（図 2 参照）。男性受験者が多い国・地域は、中国（77%）、チリ（68%）、シンガポール（63%）、インドネシア（61%）、フィリピン（57%）、韓国（54%）、日本およびメキシコ（いずれも 53%）などです。

一部、女性の受験者割合が男性より高い国・地域がありました。ブラジル（86%）、香港（68%）、エルサルバドル（66%）、オランダおよびコスタリカ（いずれも 64%）がその例です。

図 2 が示すように、TOEIC Speaking Test の平均スコアでは女性が男性を上回りました。

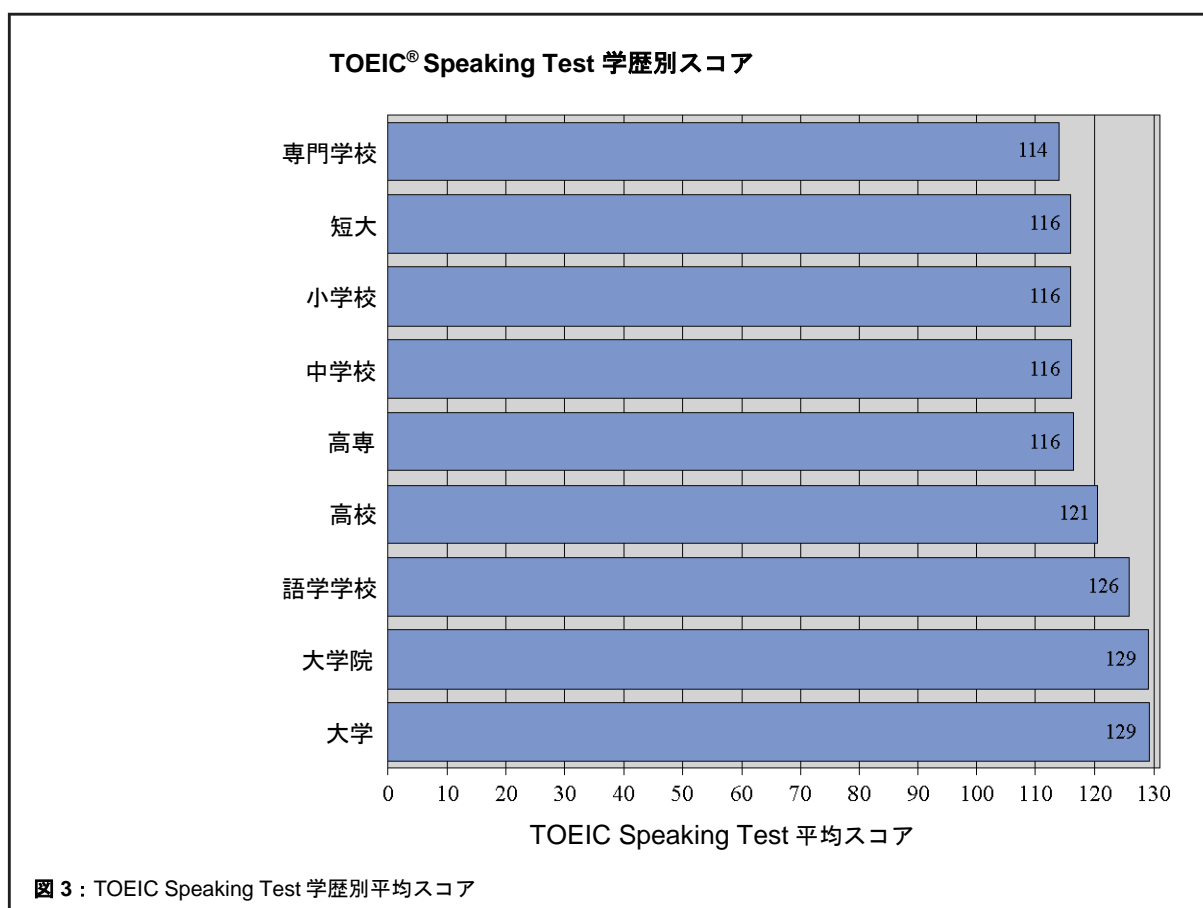


## 学歴

受験者の大半の最終学歴は、バックグラウンドアンケート回答時点で大学卒（学士取得）または大学在学中でした（70%）。大学卒または大学在学中の受験者の割合は、女性（70%）と男性（71%）でほぼ同率です。大学院卒または大学院在学中の受験者の割合は、女性（10%）よりも男性（14%）の方がやや高い結果となりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に国・地域別で比較すること

はできませんが、韓国（74%）、フィリピン（73%）、日本（61%）においては大学卒または大学在学中の受験者の割合が特に高いことがわかります。これに対し、中国（43%）、フランス（40%）では大学院卒または大学院在学中の受験者の割合が最も高くなりました。小学校卒の受験者の割合が最も高いのは、エルサルバドル（100%）およびベトナム（69%）です。

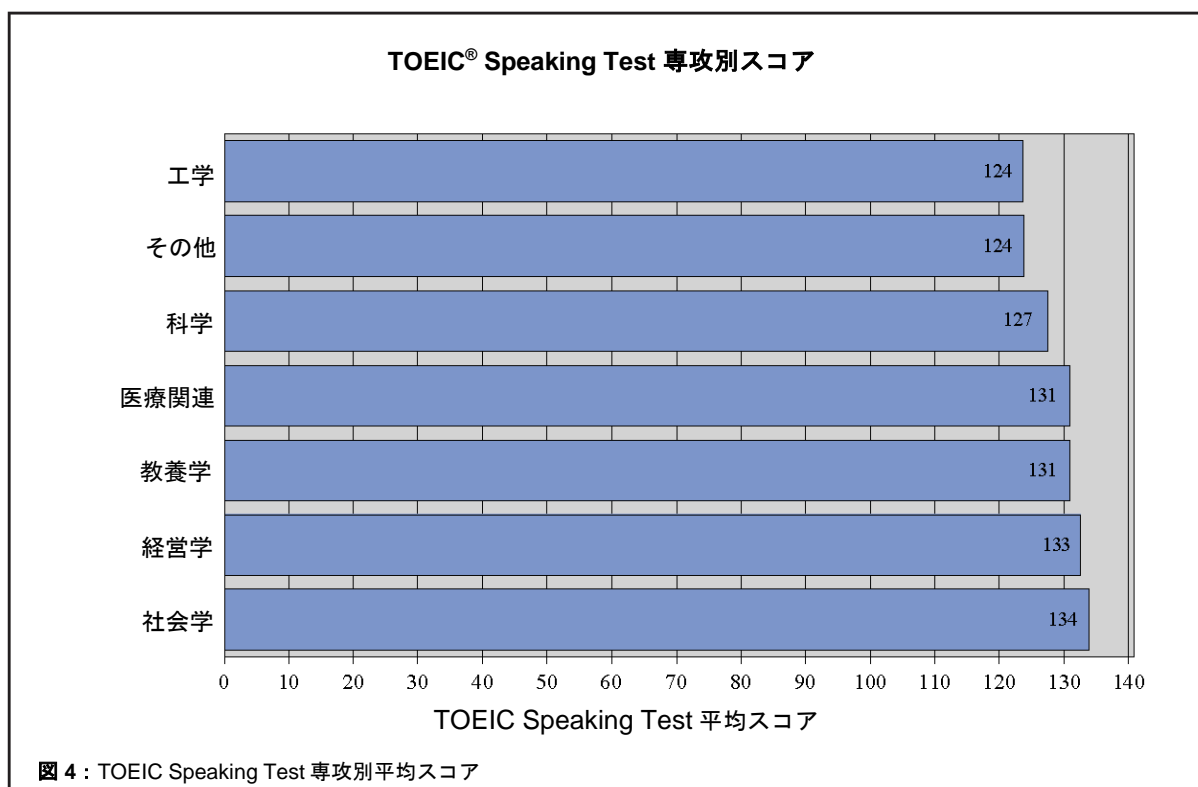


## 専攻科目

受験者の専攻科目で最も多いのは「工学」(39%)でした。「工学」専攻の受験者の割合が最も高いのは、中国(44%)、韓国(43%)です。2番目に多い専攻科目は「教養学」(20%)、3番目に多いのは「経営学」(13%)です。「教養学」専攻の受験者が最も多いのは、コロンビアおよびエルサルバドル(いずれも100%)、ベトナム(75%)です。

「経営学」専攻の受験者が多いのは、チリ(50%)、スペイン(36%)、ドイツおよびフランス(いずれも33%)などでした。

全体で見ると、「教養学」専攻については男性(11%)よりも女性(30%)、「工学」専攻については女性(19%)よりも男性(56%)の方が高い結果となりました。

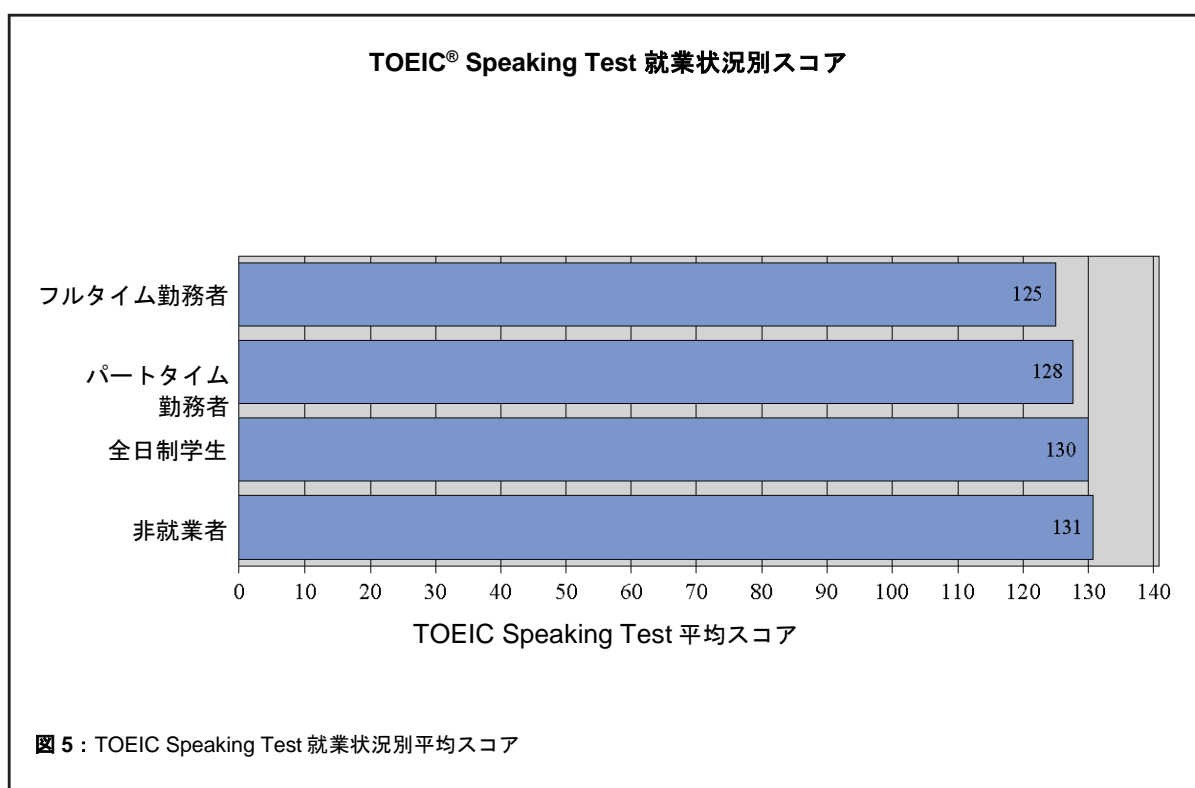


## 就業状況

全体として、TOEIC Speaking Test 受験者の多くは「フルタイム勤務者」（45%）または「全日制学生」（33%）でした。「フルタイム勤務者」の割合が高い国・地域は、シンガポールおよびタイ（いずれも 96%）、中国（93%）、ベトナム（92%）、インドネシア（89%）、チリ（81%）、香港（80%）、メキシコ（79%）、ブラジル（71%）、コスタリカ（63%）、日本

（60%）などが挙げられます。「全日制学生」が最大の割合を占める国・地域は、フィリピン（78%）とエルサルバドル（72%）です。

「フルタイム勤務者」の割合は女性（37%）よりも男性（52%）、「全日制学生」の割合は男性（31%）よりも女性（35%）の方が高くなっています。

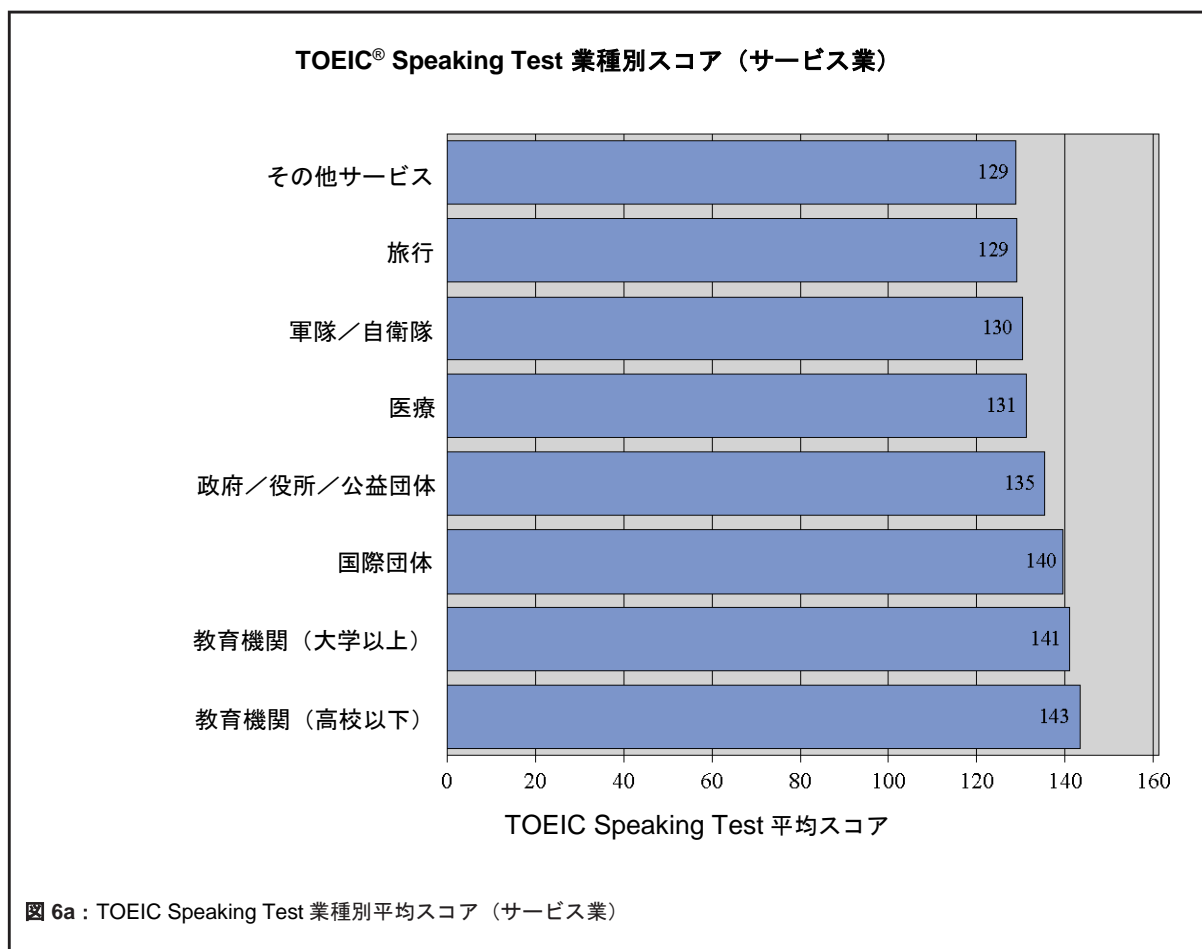




## 業種

本資料7ページからの「表2」に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「サービス業」もしくは「製造業」に従事しています。

図6a（サービス業）、図6b（製造業）および図6c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC Speaking Testの平均スコアを業種別に表したものです。



TOEIC® Speaking Test 業種別スコア（製造業）

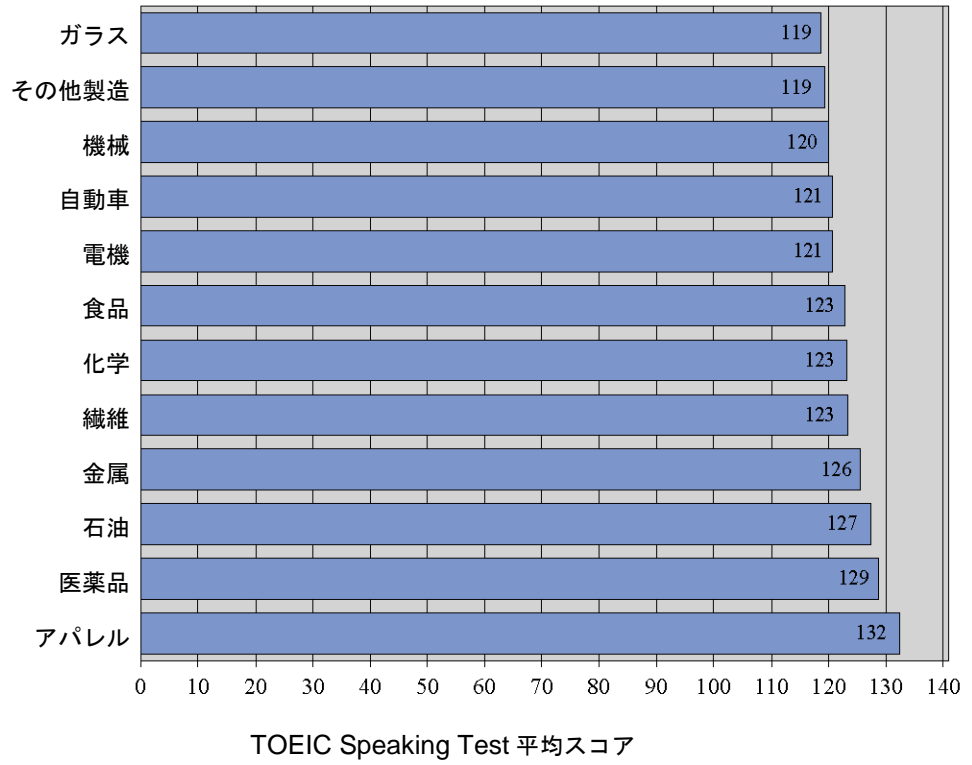
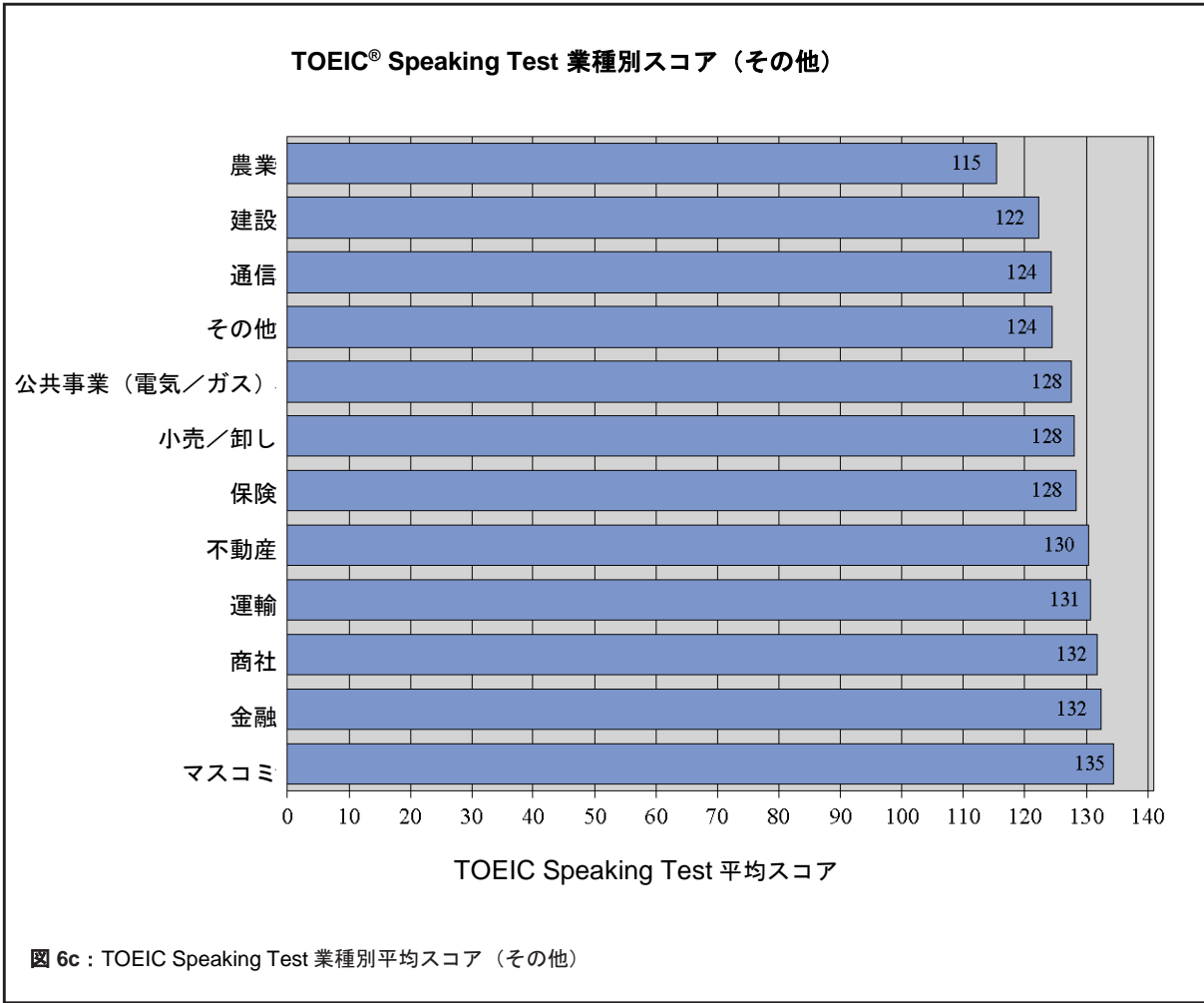


図 6b : TOEIC Speaking Test 業種別平均スコア（製造業）

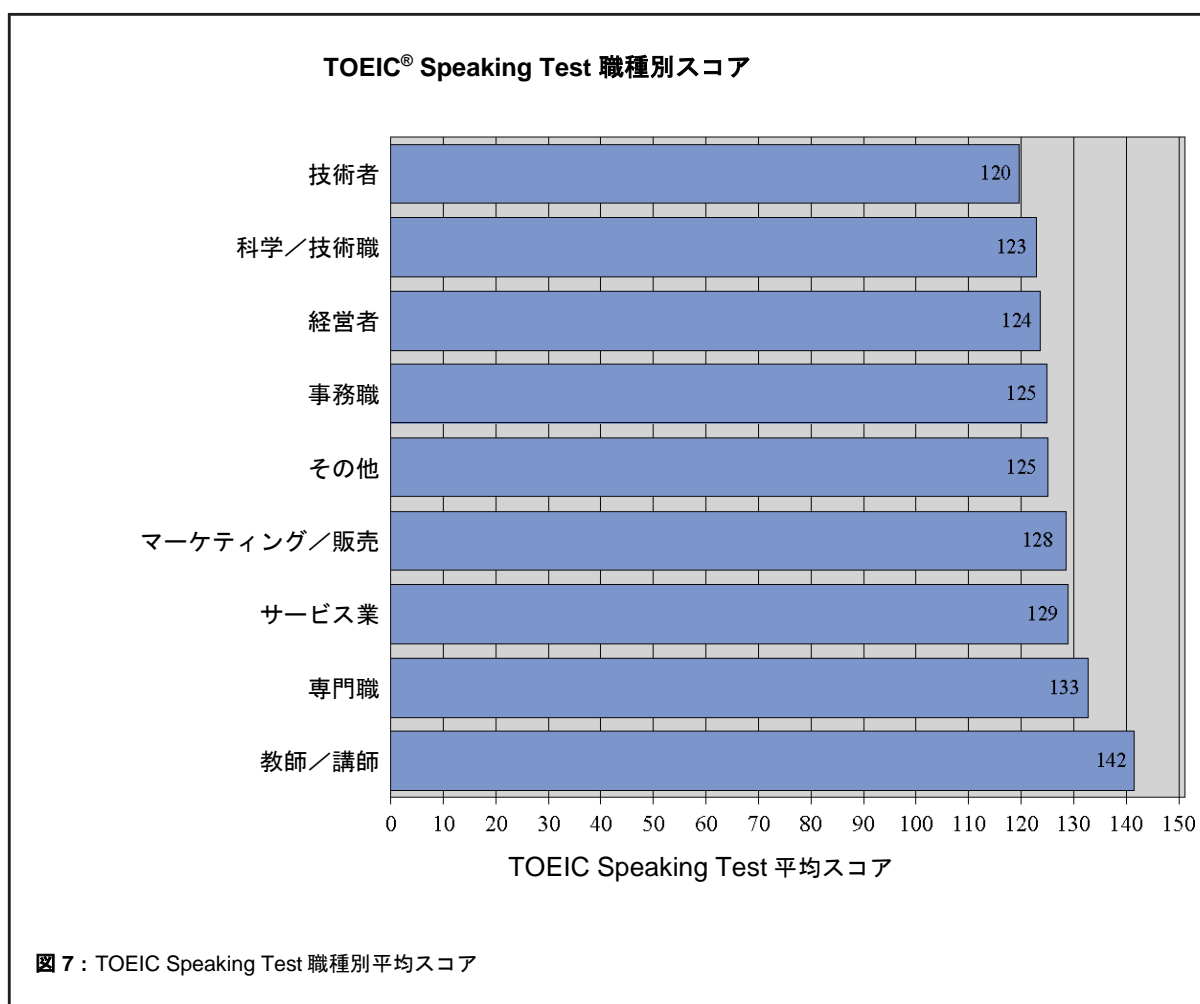


## 職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。受験者全体では「事務職」が最大の割合を占めました（22%）。

「事務職」に従事する受験者の割合が最も高い国は韓国（27%）です。「経営者」が受験者の大部分を占めるのは、ベトナム（80%）です。コスタリカでは、受験者の多くが「教師／講師」に従事しています（50%）。

全体で見ると、「サービス職」に従事する受験者の割合は、男性（4%）よりも女性（18%）の方が高くなっています。「技術者」の割合は女性（5%）よりも男性（20%）、「科学／技術職」の割合は女性（8%）よりも男性（18%）の方が高い結果となりました。



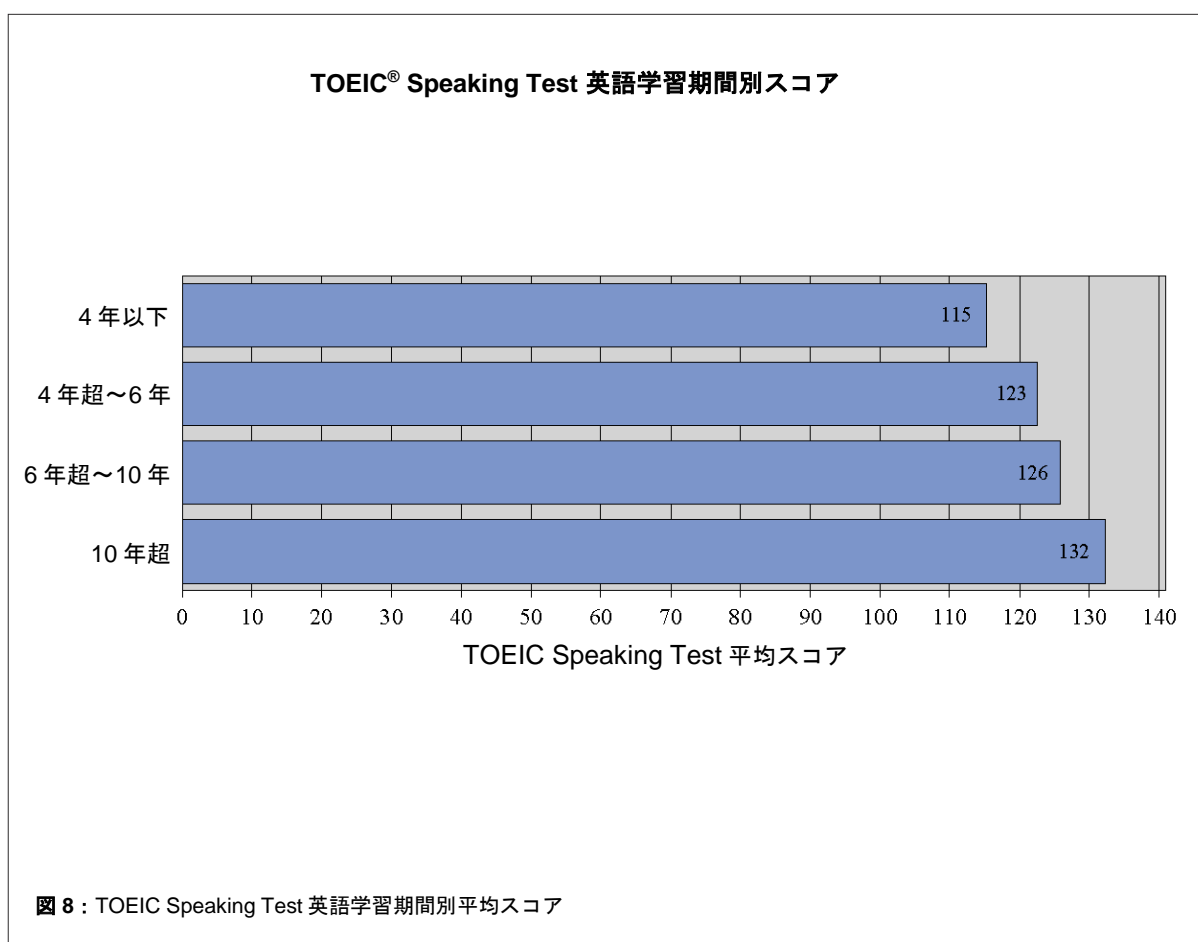
## 英語学習期間

2023年の受験者全体の78%は、6年を超える英語学習経験があると答えています。

エルサルバドル（99%）とベトナム（82%）では、学習期間が「4年以下」の受験者が特に高い割合を占めています。一方、台湾（66%）、フィリピン（61%）、日本（60%）、韓国

（58%）では学習期間が「10年超」の受験者の割合が高くなっています。

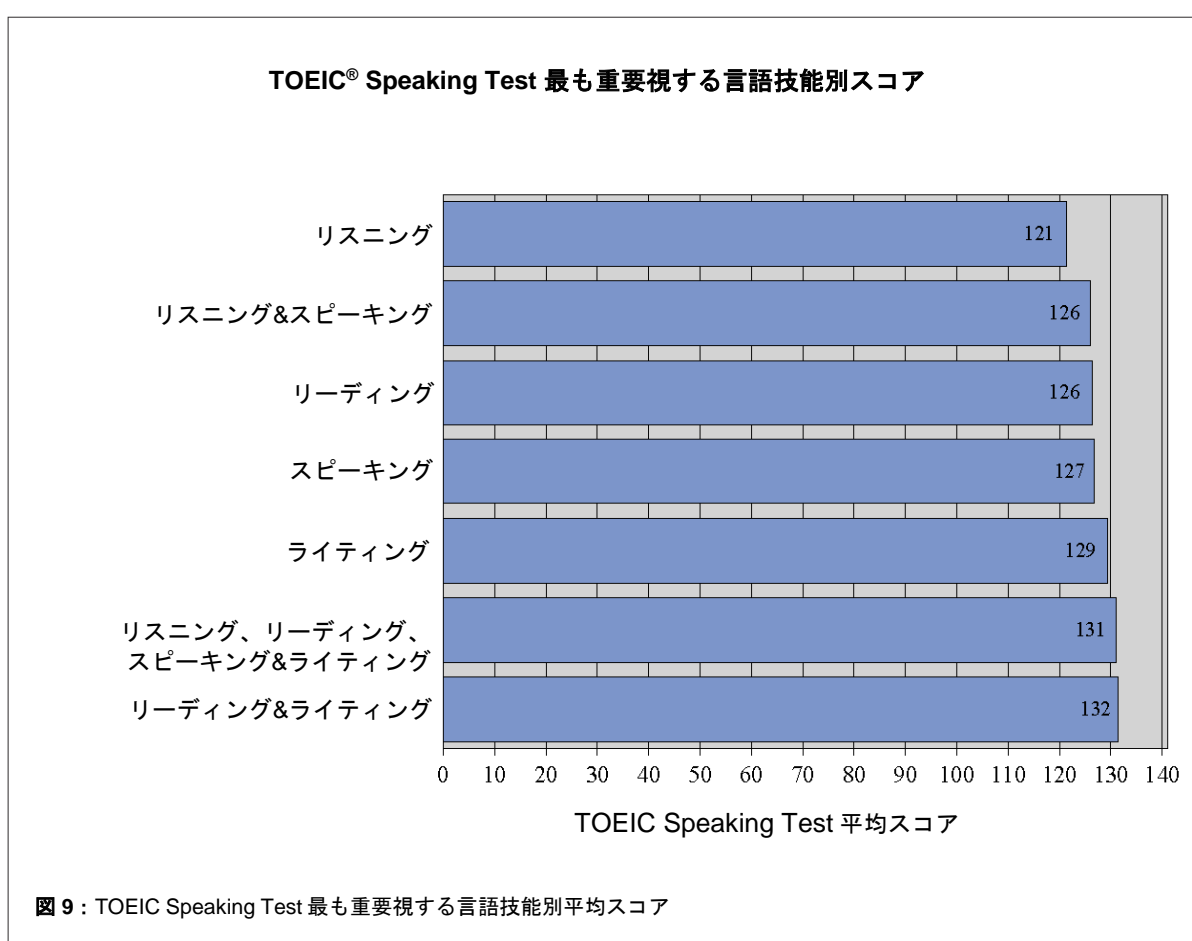
全体で見ると、10年超の英語学習経験がある受験者の割合は、男性（52%）よりも女性（60%）の方が高い結果となりました。



## 英語学習の際に最も重要視する言語技能

全体の37%が、学習の際に英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答しています。28%の受験者は「リスニング&スピーキング」を最も重視すると回答しました。

エルサルバドル（78%）、韓国（40%）、台湾（36%）では、4技能すべてが重要であるという回答が特に高い割合を占めました。一方、「リスニング」のみを重視すると回答した受験者が大部分を占めたのは、ベトナム（80%）、オランダ（41%）、イタリア（34%）でした。

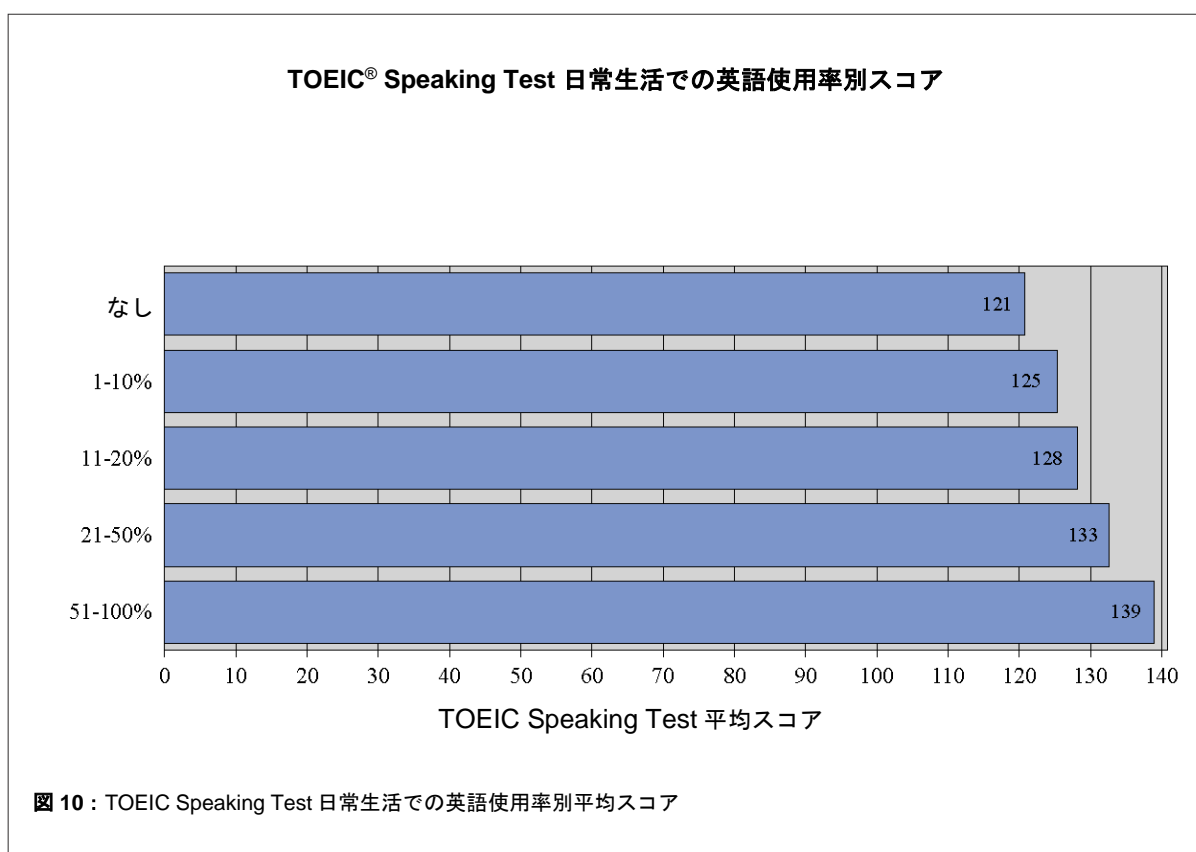


## 日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の37%が「1～10%」と回答しました。この回答は、香港（40%）、日本および韓国（いずれも39%）、中国（38%）などで特に多く挙

げられています。

日常生活において英語を使用しないという回答が多く占めたのは、ベトナム（75%）となっています。

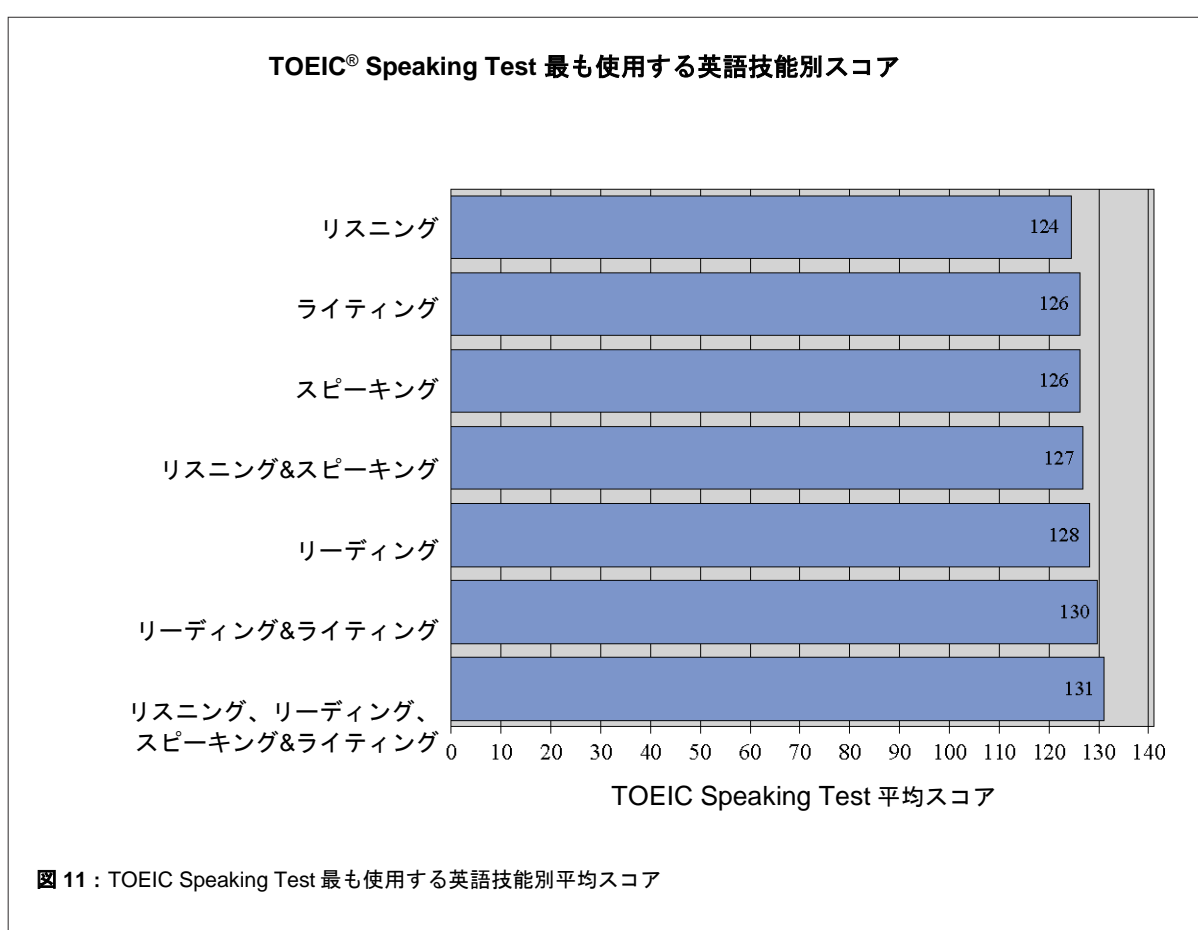


## 最も使用する言語能力

受験者全体の19%は、最も使用する英語技能として「リスニング&スピーキング」を挙げました。4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）と答えた受験者の割合は19%、「リーディング」は23%となっています。「リスニング」という回答は、ベトナム（80%）、オランダ（40%）、ブラジ

ル（36%）でその割合が高くなりました。「リーディング」という回答が多いのは、台湾（35%）、中国（34%）となっています。

「リスニング&スピーキング」の2技能を挙げた受験者の割合は、男性（17%）よりも女性（22%）の方が高くなっています。

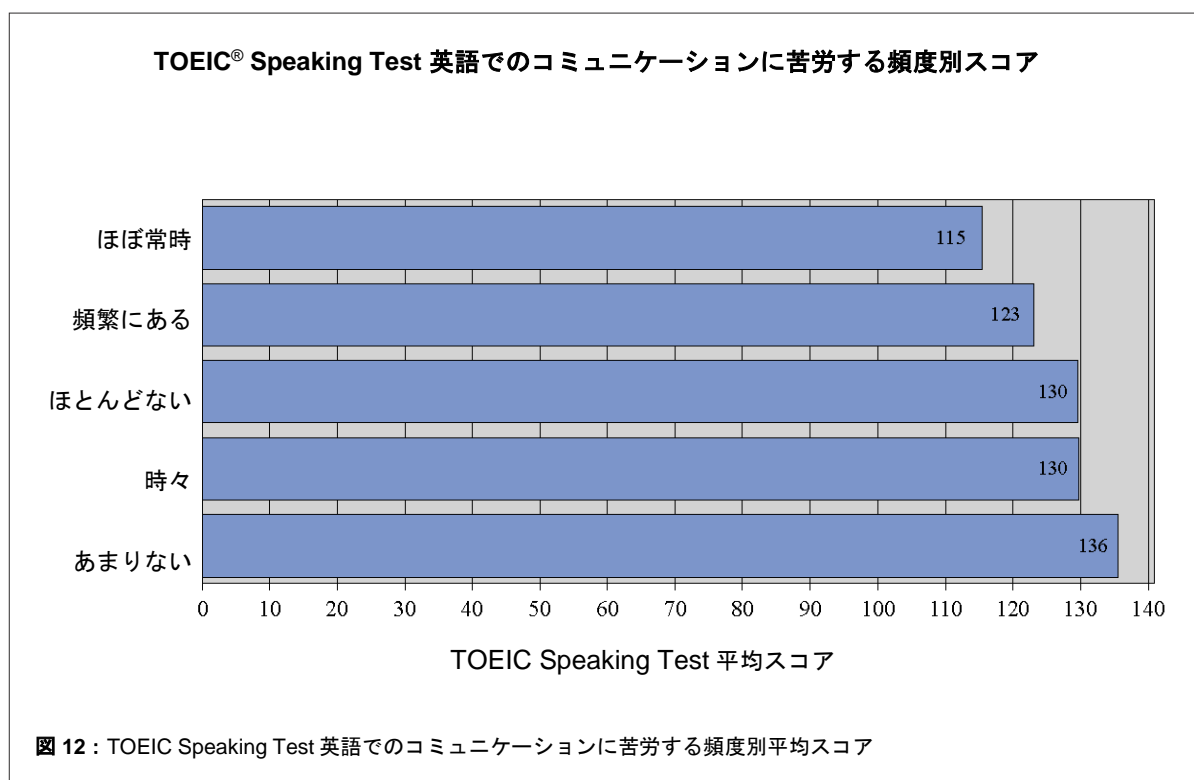




## 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の47%が「時々」、21%が「頻繁にある」、14%が「あまりない」と答えました。

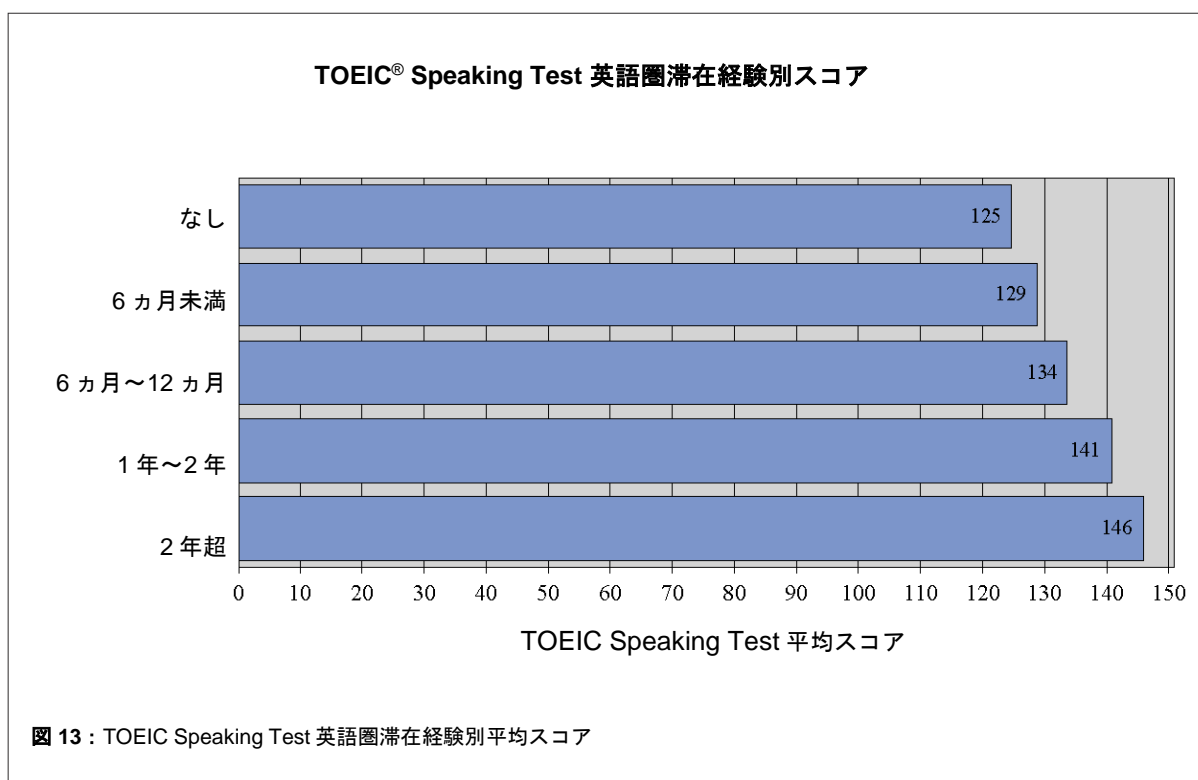
ベトナム（78%）では、「ほとんどない」という回答が大部分を占めました。



## 英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対しては、受験者全体の約 15%が 6 カ月以上の滞在経験があると答え、63%は滞在経験がないと答えています。

ベトナム（98%）、エルサルバドル（97%）、フィリピン（91%）、ブラジル（89%）、コスタリカ（88%）、ドイツ（86%）では、英語圏に滞在した経験がないと答えた受験者が大半を占めました。2 年超の滞在経験があると答えた受験者が特に多いのは、米国（49%）でした。



## 英語圏滞在目的

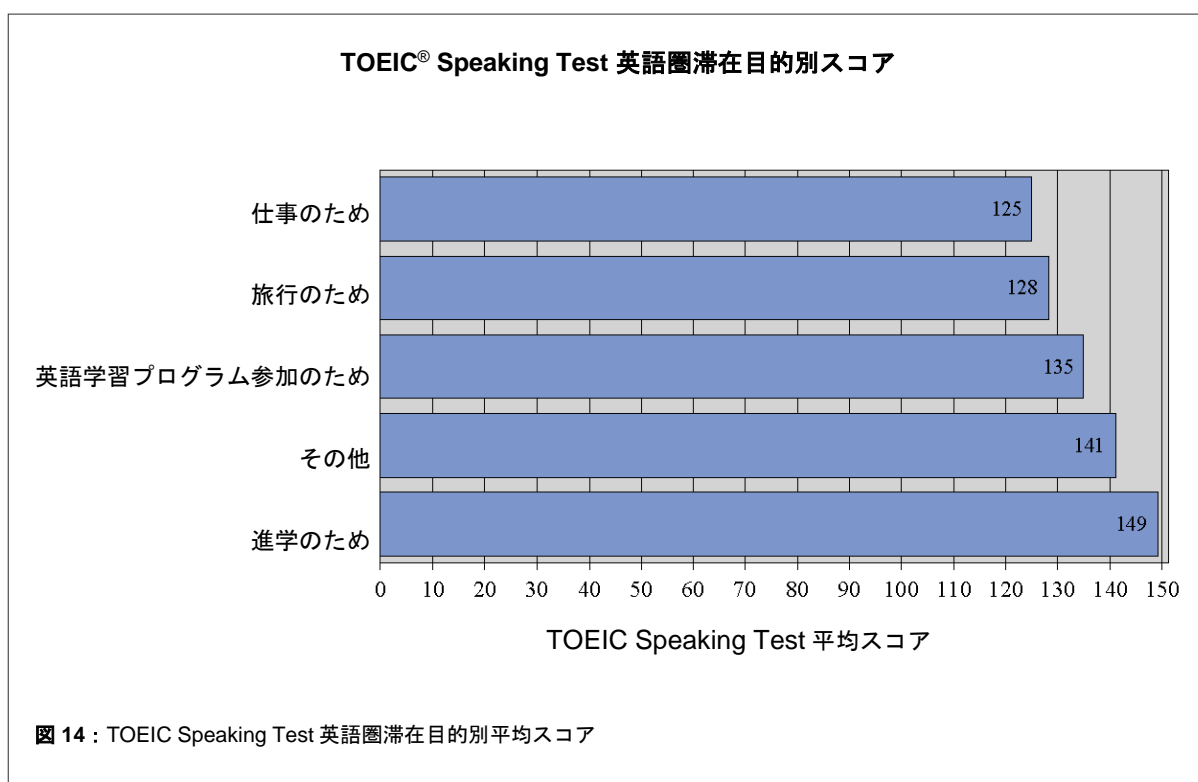
「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、受験者全体の39%が「旅行のため」、26%が「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

シンガポール（77%）、中国（69%）、ブラジル（60%）、インドネシア（50%）では、受験者の多くが「仕事のため」と答えています。

「進学のため」という回答が多いのはエルサル

バドル（86%）とオランダ（44%）、「旅行のため」という回答が多いのは韓国およびフィリピン（いずれも42%）となっています。

全体で見ると、「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は男性（21%）よりも女性（31%）、「仕事のため」の割合は女性（8%）よりも男性（21%）の方が高くなっています。

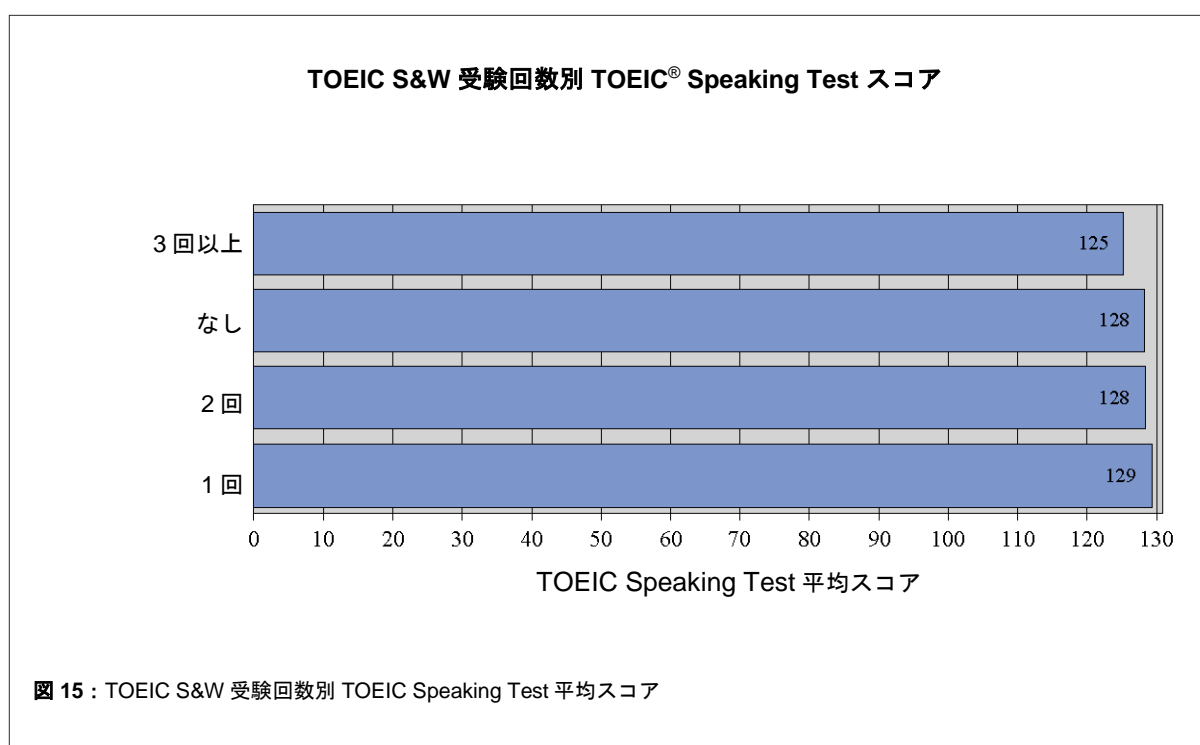


## TOEIC® Speaking Test の受験経験

全体としては、受験者の 58%が過去にも TOEIC Speaking Test を受験した経験があり、およそ 24%が「3 回以上」受験しています。

TOEIC Speaking Test 受験経験者の割合については、下はベトナム（7%）から上は中国（71%）まで、国・地域によって大きく差が出ました。

全体で見ると、TOEIC Speaking Test の受験経験がないと答えた受験者の割合は、男性（39%）よりも女性（46%）の方が高くなりました。これに対して、過去に「3 回以上」受験したことがあると答えた受験者の割合は、女性（19%）よりも男性（28%）の方が高くなっています。



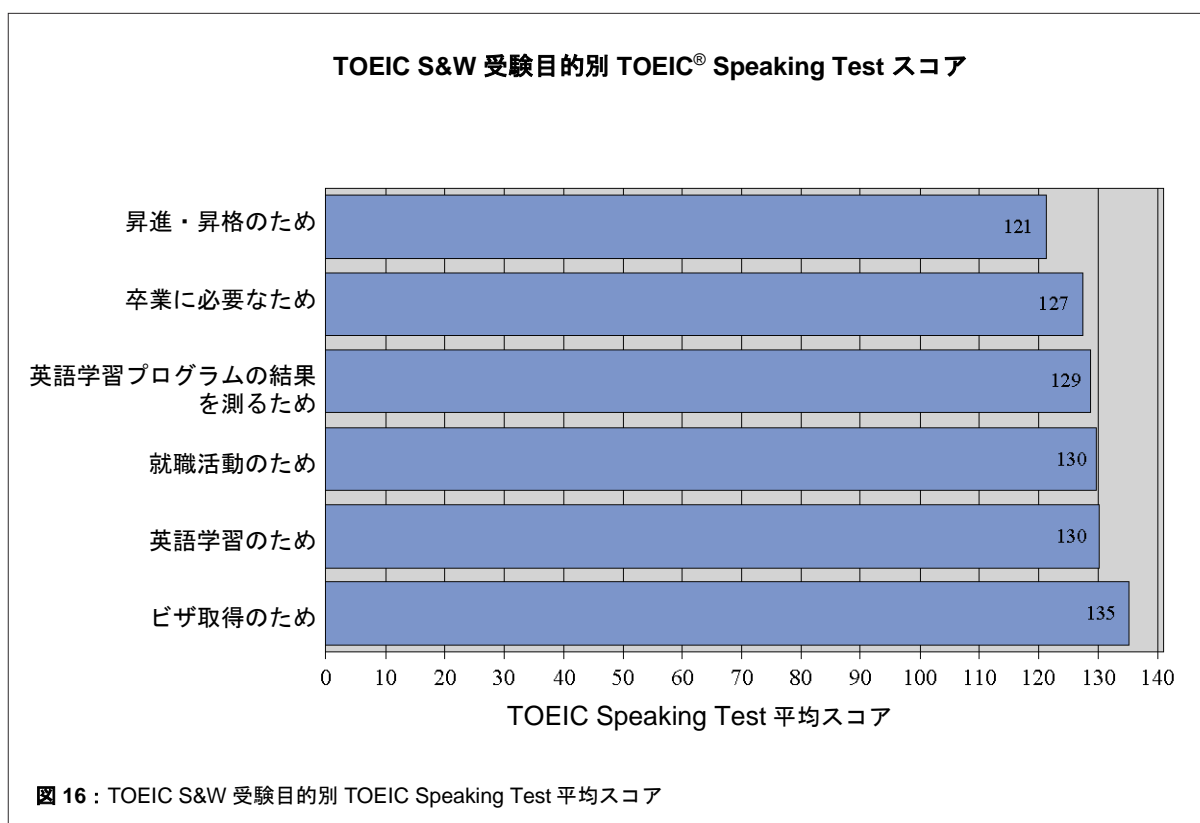
## TOEIC® Speaking Test の受験目的

TOEIC Speaking Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」(50%)と「昇進・昇格のため」(20%)です。

「就職活動のため」と答えた受験者が大部分を占めたのは、ブラジル(88%)、ベトナム(83%)、米国(78%)、コスタリカ(55%)、韓国(52%)、中国(50%)となりました。受験者の大半が「昇進・昇格のため」と答えたのは、タイ(49%)とメキシコ

(31%)です。「英語学習のため」という回答が多いのは日本(50%)、「卒業に必要なため」が多いのはフィリピン(68%)、エルサルバドル(56%)となりました。

「就職活動のため」という回答の割合は男性(43%)よりも女性(58%)、「昇進・昇格のため」の割合は女性(14%)よりも男性(25%)の方が高くなっています。



## 2023年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴

バックグラウンド情報は、公開テストまたは団体特別受験制度により 2023 年 TOEIC Writing Test を受けた受験者（TOEIC Speaking Test と TOEIC Writing Test の両方を受けた受験者、TOEIC Writing Test のみ受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC Writing Test 受験者の特徴です。受験者の回答率は質問項目によって異なりますのでご注意ください。

- 性別は 48%が男性
- 学歴で多いのは大学卒または大学在学中（48%）
- 専攻で最も多いのは「教養学」で 42%、「経営学」が 14%、「工学」が 12%
- 60%が「フルタイム勤務者」、25%が「全日制学生」
- 就業者の業種は 26%が「サービス業」、18%が「製造業」
- 職種は 35%が「経営者」、12%が「科学／技術職」、10%が「事務職」
- 63%が 6 年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重視される技能としては、28%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、26%が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、36%が「リスニング」、21%が「リーディング」を選択
- 35%は英語でのやりとりに「時々」苦労すると回答
- 70%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、49%が「進学のため」または「英語学習プログラムへの参加のため」を選択
- 過去の受験経験については、72%が「なし」と回答
- 受験目的については、39%が「就職活動のため」、23%が「英語学習のため」、20%が「卒業に必要なため」と回答

## TOEIC® Writing Test の国・地域別平均スコア

以下の図 17 は、地域別の TOEIC Writing Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 3 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC Writing Test を受験した国・地域

は、受験者の母国と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC Writing Test 受験者が 50 名以上の国・地域のみ掲載されています。

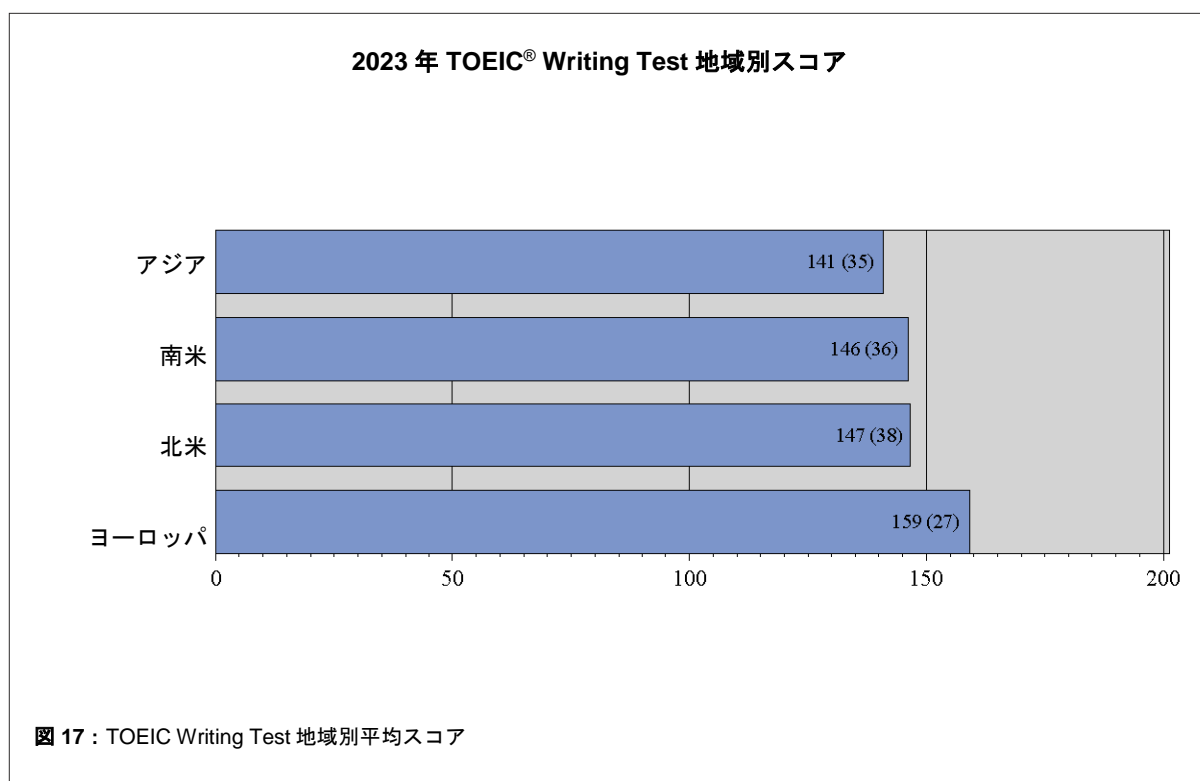


表 3 : TOEIC® Writing Test 受験者の国・地域別平均スコア

国名	ライティング	
	平均	(SD)*
ブラジル	161	(26)
チリ	132	(38)
中華人民共和国	145	(29)
コロンビア	156	(31)
コスタリカ	144	(43)
エルサルバドル	144	(28)
フランス	160	(27)
ドイツ	167	(27)
香港	115	(50)
インドネシア	150	(33)
日本	129	(38)
韓国	149	(28)
メキシコ	156	(27)
オランダ	159	(23)
フィリピン	171	(24)
シンガポール	137	(24)
スペイン	157	(27)
台湾	156	(24)
米国	121	(71)
ベトナム	152	(23)

\*SD=標準偏差



## TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計

表 4 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC Writing Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC Writing Test 平均スコアを示しています。各カテゴリーの TOEIC Writing Test 受験者に関する詳細な情報は表 4 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーは TOEIC S&W バックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

**表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア**

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
性別	女性	52.1	151	(29)
	男性	47.9	151	(29)
学歴	小学校	20.4	147	(28)
	中学校	0.9	123	(46)
	高校	7.0	135	(36)
	高専	0.7	133	(37)
	専門学校	1.3	135	(37)
	短大	3.9	139	(29)
	大学	47.8	151	(26)
	大学院	16.6	155	(24)
	語学学校	1.3	145	(34)
専攻科目	教養学	41.7	150	(27)
	社会学	8.9	150	(27)
	経営学	14.3	152	(28)
	科学	8.9	148	(26)
	医療関連	4.8	150	(27)
	工学	11.6	145	(27)
	その他	9.7	140	(35)

\*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	59.9	149	(28)
	パートタイム勤務者	7.0	151	(34)
	非就業者	8.1	155	(28)
	全日制学生	25.0	155	(30)
業種	農業	27.7	148	(27)
	建設	1.3	148	(33)
	食品	1.3	141	(38)
	医薬品	1.5	152	(25)
	化学	1.2	143	(26)
	繊維	0.2	137	(31)
	石油	0.7	154	(23)
	金属	0.9	139	(26)
	機械	2.2	139	(30)
	電機	4.2	148	(25)
	自動車	2.0	148	(29)
	ガラス**			
	アパレル	1.6	143	(34)
	その他製造	1.9	144	(30)
	教育機関 (高校以下)	5.3	157	(26)
	教育機関 (大学以上)	3.1	160	(27)

\*SD=標準偏差

\*\*注: サンプル数が少ないため (50 未満)、業種「ガラス」の受験者数についてはデータが得られませんでした。

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
業種 (続)	政府／役所／公益団体	2.5	153 (26)
	国際団体	0.6	158 (22)
	軍隊／自衛隊	1.7	144 (31)
	医療	3.2	150 (28)
	旅行	1.6	148 (32)
	その他サービス	8.4	150 (29)
	公共事業 (電気／ガス)	1.2	145 (28)
	マスコミ	0.7	156 (26)
	通信	1.8	150 (27)
	小売／卸し	1.1	146 (33)
	商社	2.5	145 (30)
	金融	6.9	154 (26)
	保険	0.8	148 (26)
	不動産	0.4	148 (29)
	運輸	2.0	154 (23)
	その他	9.4	150 (31)
職種	経営者	34.5	148 (28)
	科学／技術職	12.1	150 (27)
	教師／講師	9.3	158 (27)
	専門職	7.8	154 (26)
	技術者	3.9	141 (28)
	マーケティング／販売	7.2	148 (29)
	事務職	10.2	145 (29)
	サービス業	6.8	151 (28)
	その他	8.1	147 (32)
	英語学習期間	4年以下	28.5
4年超～6年		8.3	144 (31)
6年超～10年		16.0	150 (29)
10年超		47.2	158 (25)

\*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング	29.1	148 (28)
	リーディング	10.8	152 (28)
	スピーキング	11.8	147 (29)
	ライティング	2.6	151 (33)
	リスニング&スピーキング	11.8	149 (29)
	リーディング&ライティング	5.9	162 (28)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	28.0	157 (27)
日常生活での英語使用率	なし	25.9	146 (29)
	1~10%	26.3	148 (29)
	11~20%	21.2	153 (27)
	21~50%	18.1	159 (26)
	51~100%	8.4	165 (25)
最も使用する英語技能	リスニング	36.3	149 (28)
	リーディング	20.8	152 (27)
	スピーキング	8.5	148 (32)
	ライティング	4.1	152 (31)
	リスニング&スピーキング	8.3	151 (29)
	リーディング&ライティング	8.2	158 (28)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	13.7	158 (28)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	31.0	153 (30)
	あまりない	20.6	158 (27)
	時々	35.3	152 (26)
	頻繁にある	9.6	143 (29)
	ほぼ常時	3.6	133 (34)

\*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	69.9	151 (28)
	6 ヶ月未満	15.2	148 (29)
	6 ヶ月～12 ヶ月	5.3	154 (28)
	1 年～2 年	3.4	158 (25)
	2 年超	6.1	163 (26)
英語圏滞在目的	進学のため	28.4	158 (29)
	英語学習プログラム参加のため	20.6	152 (26)
	旅行のため	21.1	148 (29)
	仕事のため	20.3	152 (27)
	その他	9.5	159 (30)
TOEIC S&W 受験回数	なし	71.9	151 (29)
	1 回	13.6	152 (28)
	2 回	5.2	151 (27)
	3 回以上	9.2	149 (26)
TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	39.0	151 (28)
	昇進・昇格のため	10.9	144 (29)
	英語学習プログラムの結果を測るため	7.1	150 (27)
	英語学習のため	22.6	152 (28)
	卒業に必要なため	20.2	154 (31)
	ビザ取得のため	0.2	149 (35)

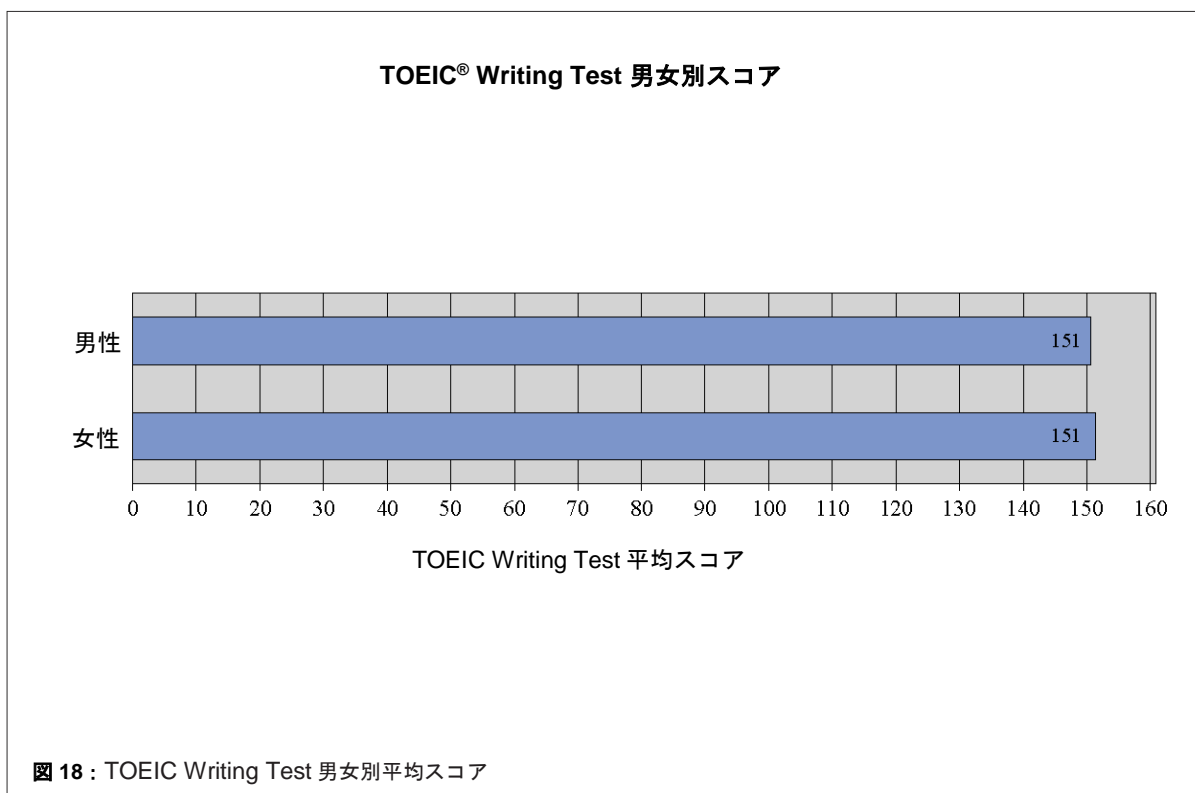
\*SD=標準偏差

## 性別

全体として、TOEIC Writing Test 受験者の性別の割合は、男性（48%）よりも女性（52%）が高くなっています（本資料 32 ページ「表 4」参照）。女性の割合が高いのはブラジル（83%）、香港（68%）、米国（67%）です。一方、男性の割合が高いのはチリ（68%）、シ

ンガポール（61%）、韓国（57%）です。ドイツでは、性別として「その他」を選択した受験者も 31%いました。

図 18 が示すように、男性と女性の TOEIC Writing Test の平均スコアは同じでした。

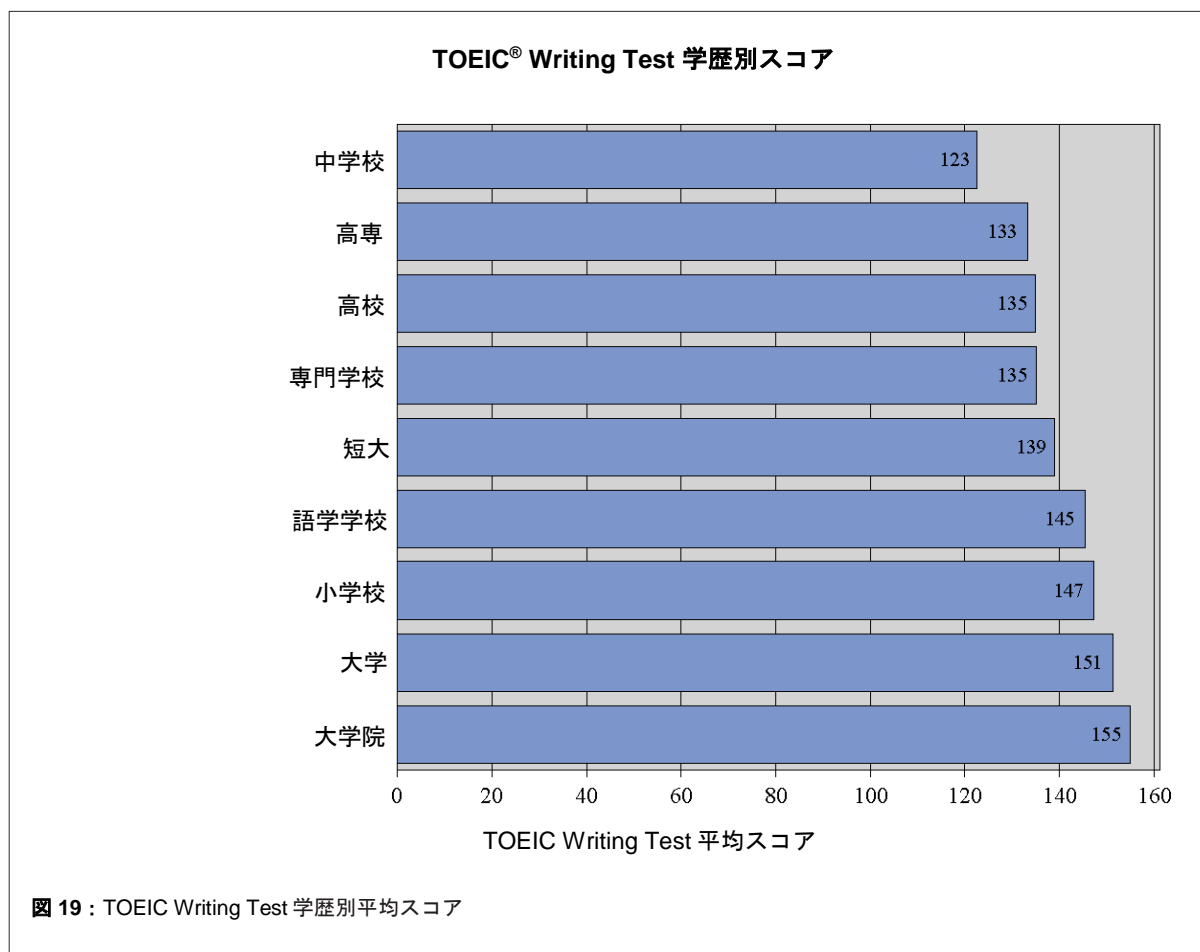


## 学歴

多くの受験者（48%）は、バックグラウンドアンケート回答時点の学歴が大学卒（学士取得）または大学在学中でした。国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に国・地域別で比較することはできませんが、韓国（72%）、フィリピン（71%）、日本（59%）、台湾（53%）においては大学卒または大学在学中の受験者の割合が最も高いという結果になりました。フランス（42%）では大学

院卒または大学院在学中の受験者の割合が高くなりました。一部の国・地域では、小学校卒の受験者が大半を占めました。エルサルバドル（100%）とベトナム（72%）がその例です。

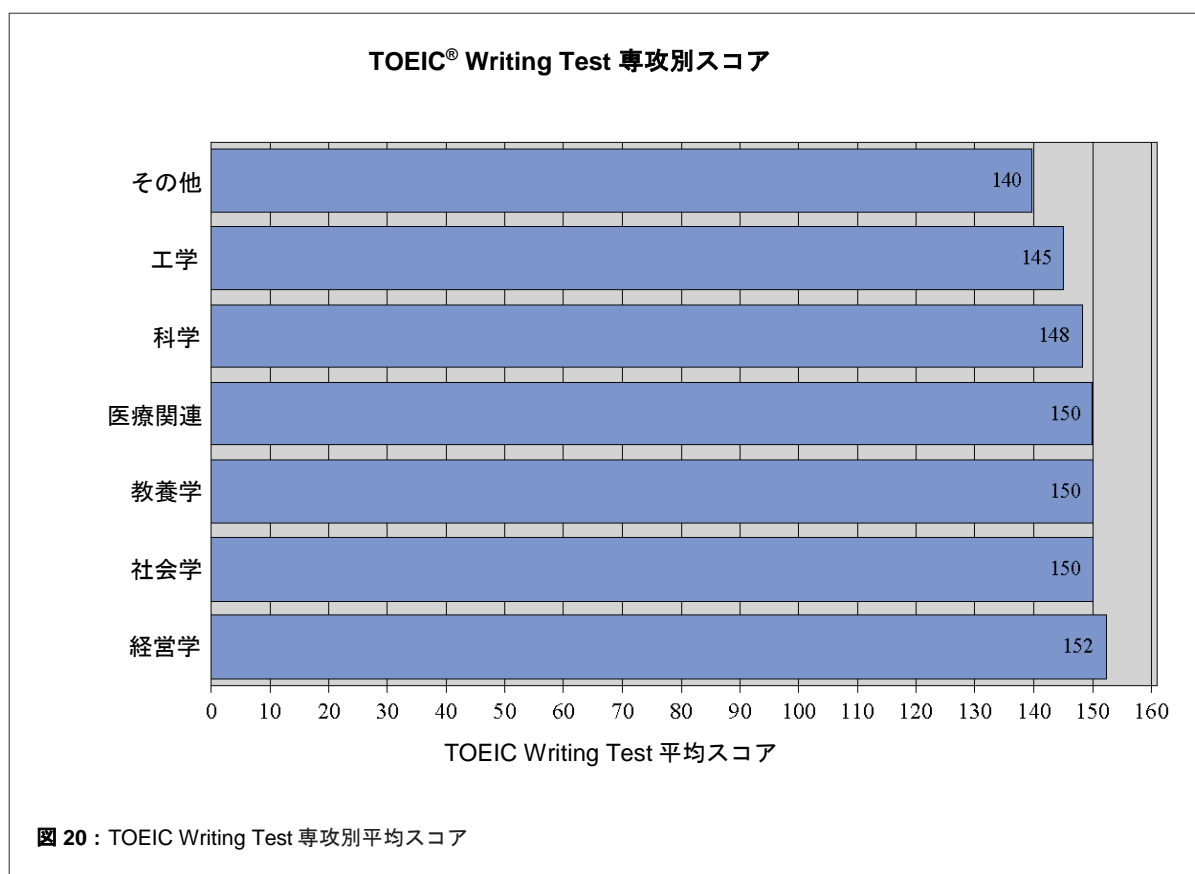
全体で見ると、大学・大学院卒または大学・大学院在学中の受験者の割合は、女性（58%）よりも男性（71%）の方が高くなっています。



## 専攻科目

全体として、受験者の専攻科目で最も多いのは「教養学」（42%）でした。コロンビアとエルサルバドルでは、「教養学」専攻の割合がいずれも100%、ベトナムでは79%に上ります。中国では、「工学」専攻の受験者が多数を占めました（35%）。チリでは、「工学」専攻および「経営学」専攻の受験者がそれぞれ50%を占めました。メキシコでは、受験者全員（100%）が「社会学」専攻でした。

全体で見ると、「教養学」専攻については男性（29%）よりも女性（53%）、「工学」専攻については女性（4%）よりも男性（20%）の方が高い結果となりました。





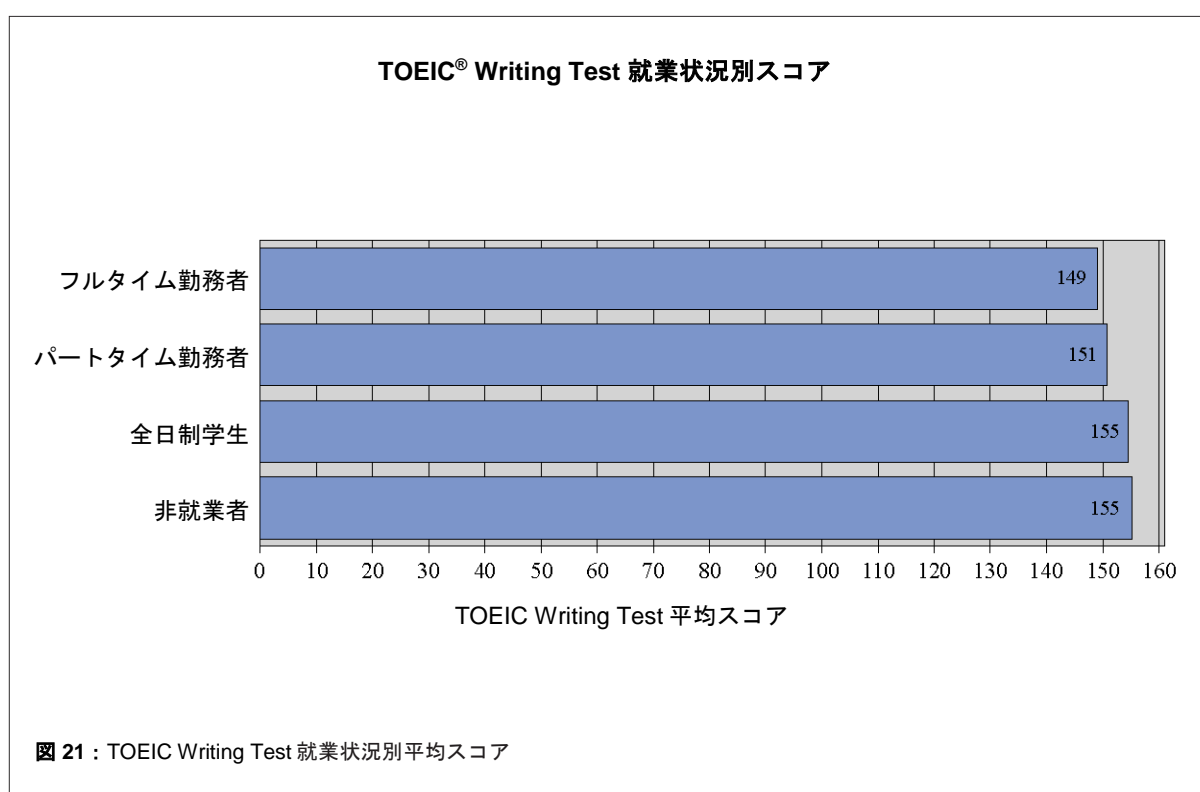
## 就業状況

全体として、TOEIC Writing Test 受験者の多く（60%）は「フルタイム勤務者」でした。「フルタイム勤務者」の割合は、シンガポール（100%）、中国（96%）、ベトナム（92%）、メキシコ（89%）、インドネシア（88%）などで最も高くなっています。

受験者の25%は「全日制学生」でした。「全日

制学生」が受験者の大半を占めたのは、フィリピン（78%）とエルサルバドル（72%）です。

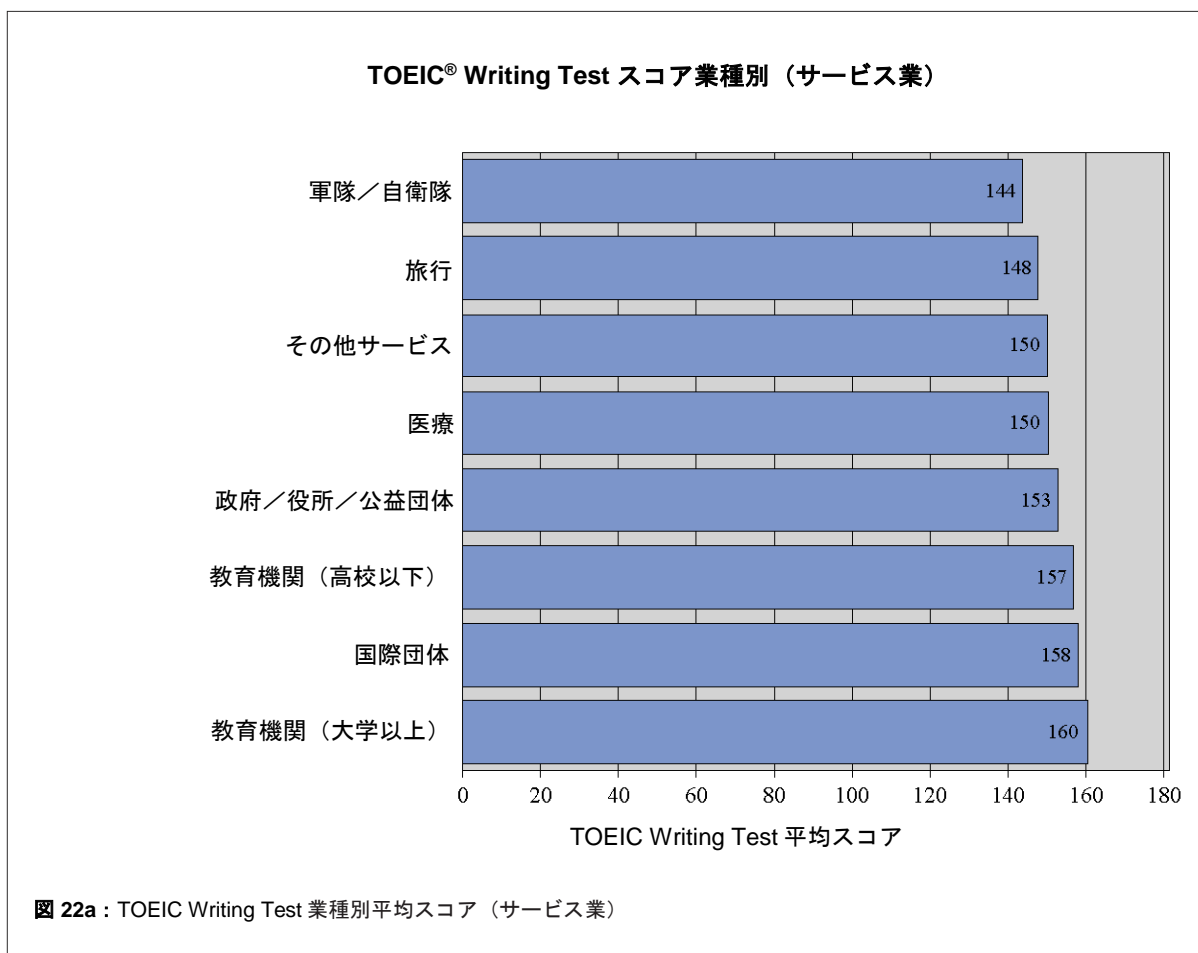
「フルタイム勤務者」の割合は女性（58%）よりも男性（62%）、「全日制学生」の割合は男性（23%）よりも女性（27%）の方が高くなっています。

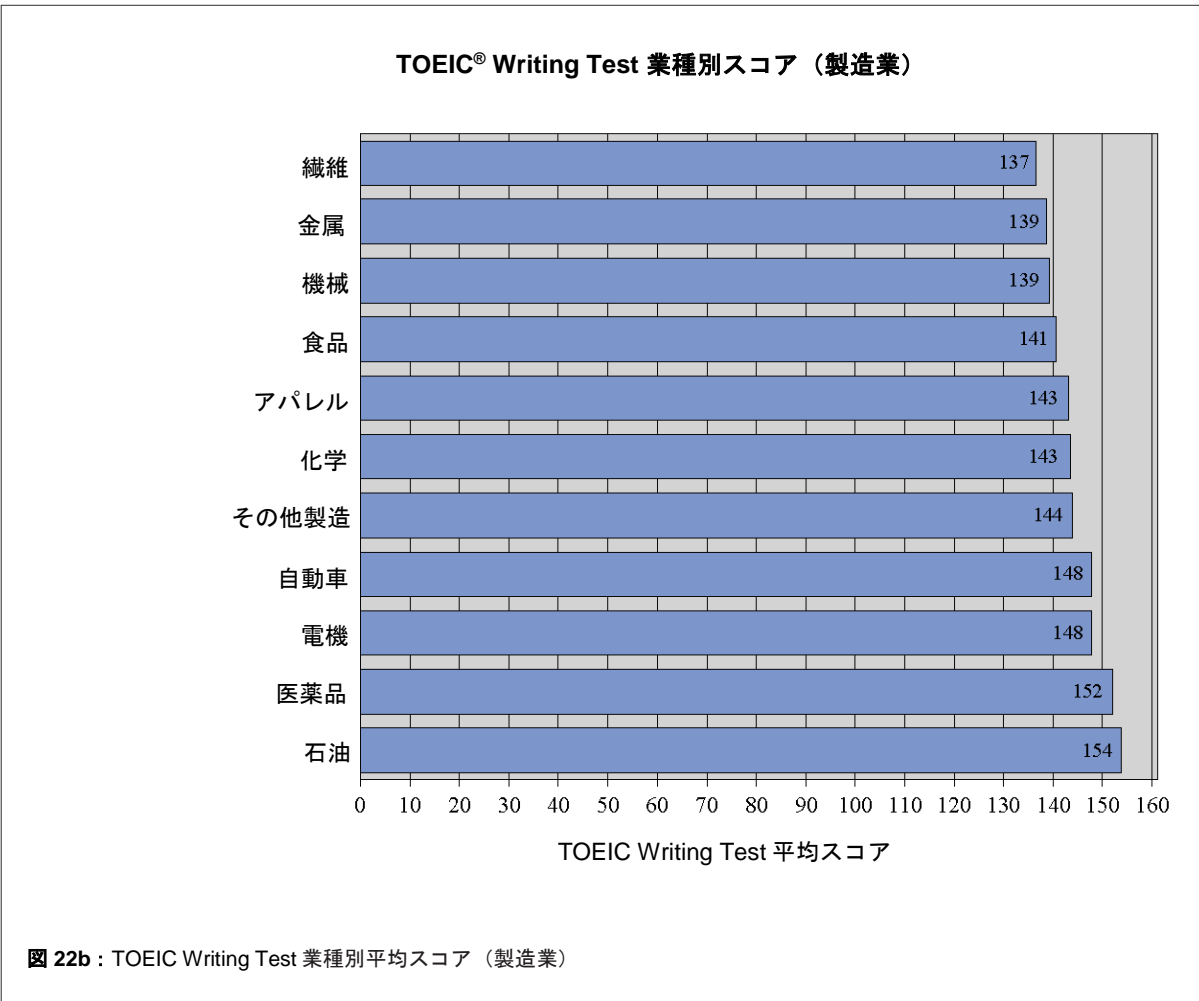


## 業種

本資料 32 ページからの「表 4」に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「サービス業」もしくは「製造業」に従事しています。

図 22a（サービス業）、図 22b（製造業）、図 22c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC Writing Test の平均スコアを業種別に表したものです。





注：サンプル数が少ないため（50未満）、業種「ガラス」の平均スコアについてはデータが得られませんでした。

### TOEIC® Writing Test 業種別スコア（その他）

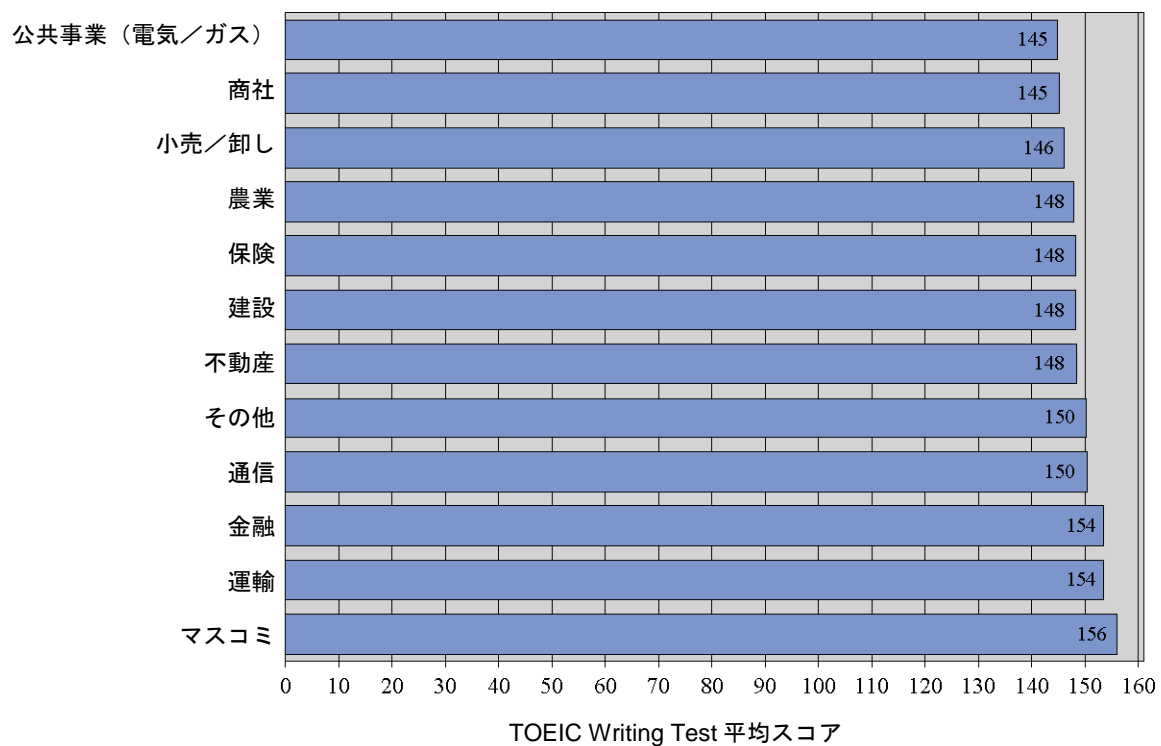


図 22c : TOEIC Writing Test 業種別平均スコア（その他）

## 職種

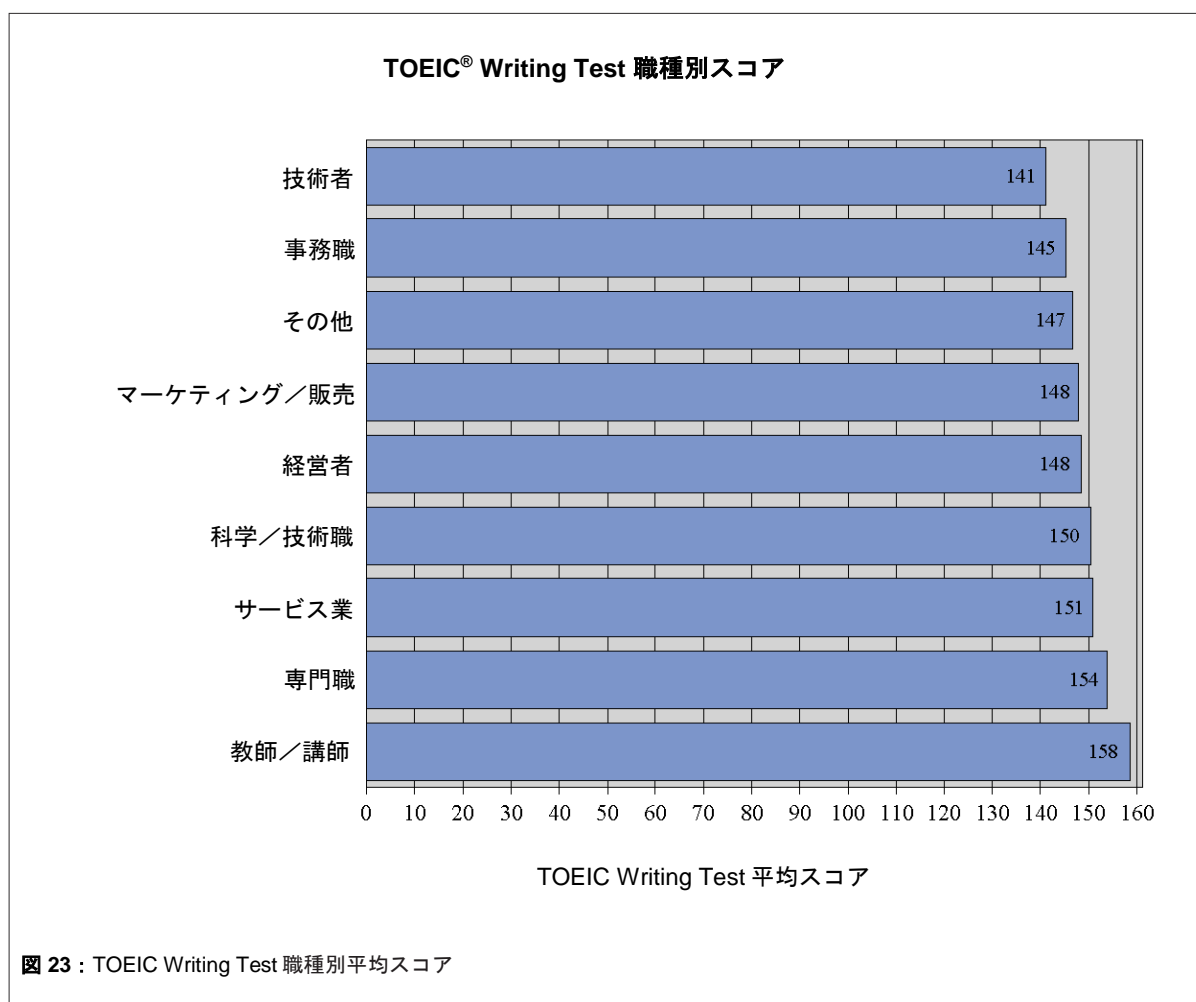
受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。受験者全体では、「経営者」(35%)、「科学／技術職」(12%)、「事務職」(10%)、「教師／講師」(9%)が上位を占めました。

「経営者」の割合は、ベトナム(83%)、シンガポール(44%)、チリ(35%)で最も高くなっています。

「事務職」の割合が高いのは韓国(34%)です。「科学／技術職」の受験者が多いのは日本

(27%)、インドネシアおよびスペイン(いずれも26%)で、「教師／講師」の割合が高いのはコロンビア(32%)でした。

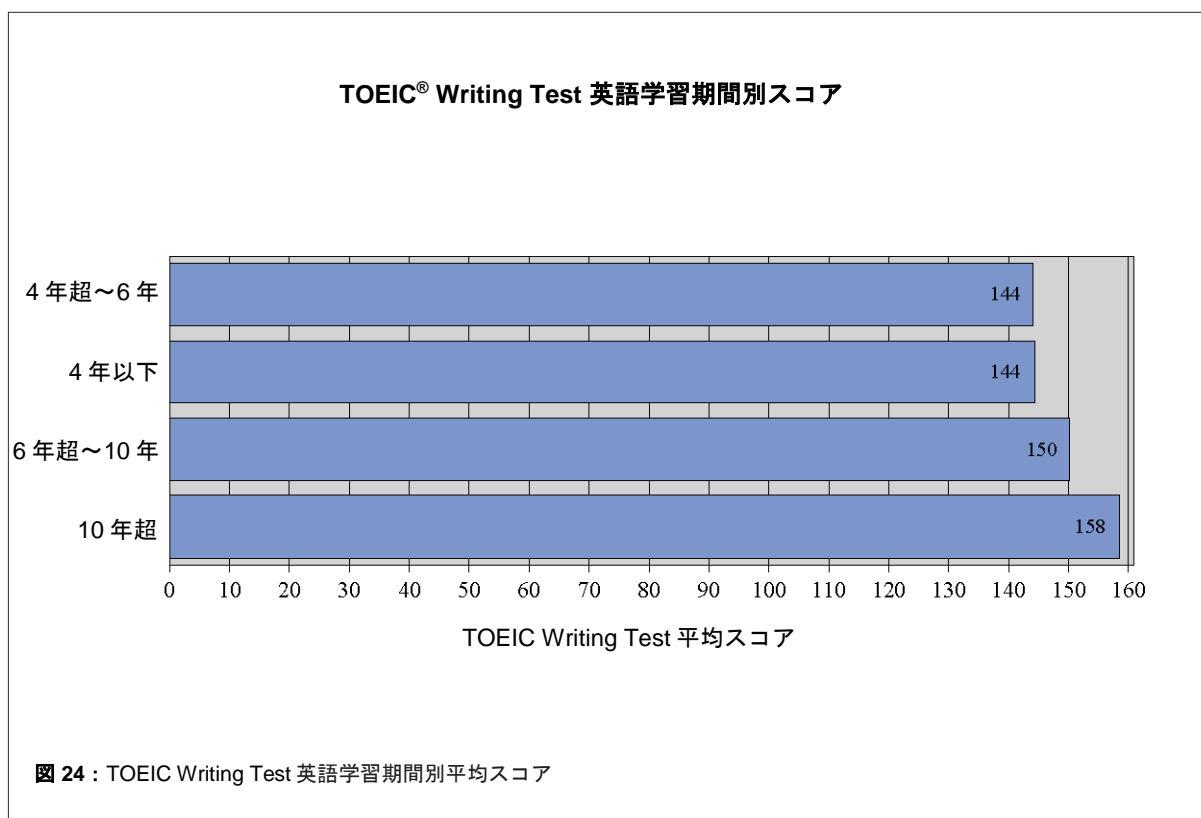
全体で見ると、「教師／講師」は女性(12%)の方が男性(6%)よりも多く、「経営者」も女性(39%)の方が男性(30%)よりも多くなっています。「科学／技術職」の割合は女性(7%)よりも男性(18%)の方が高い結果となりました。



## 英語学習期間

2023年の受験者全体の63%は、6年を超える英語学習経験があると答えています。ただし、エルサルバドル（99%）、ベトナム（85%）、シ

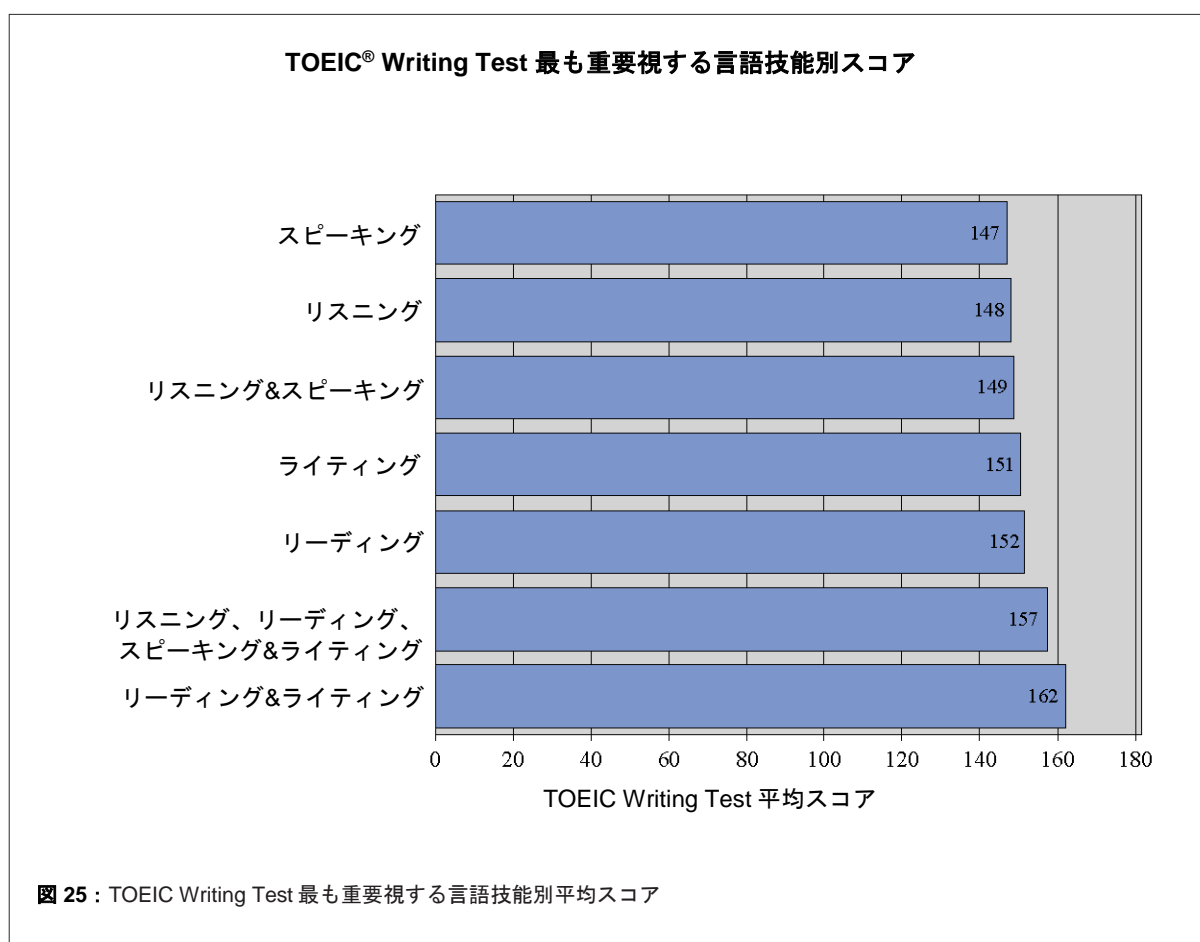
ンガポール（56%）では「4年以下」という回答が多く見られました。



## 英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の28%は、英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答しています。

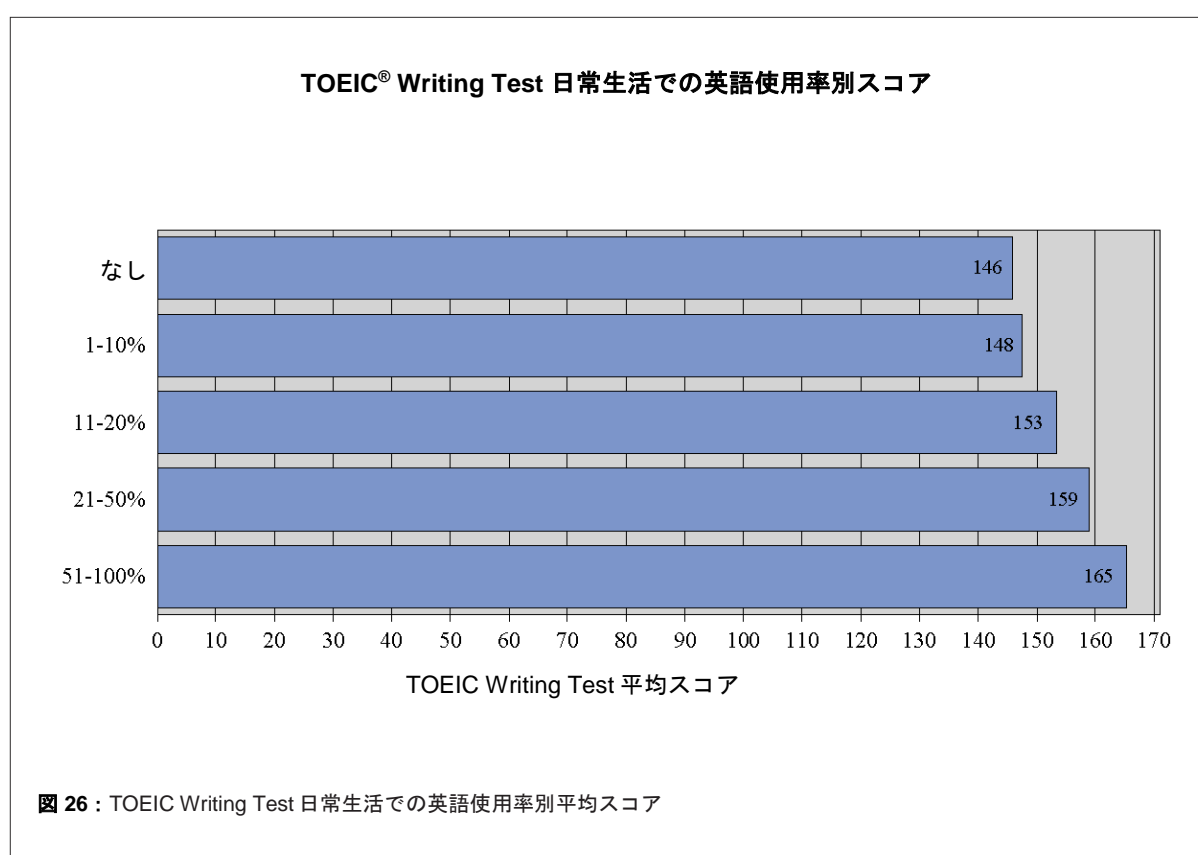
この回答は、エルサルバドル（78%）、韓国（58%）で多くの割合を占めています。一方、最も重要視する技能として「リスニング」を挙げた受験者が多かったのは、ベトナム（83%）とオランダ（41%）でした。



## 日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の26%が「1～10%」と回答しました。この回答は、中国（50%）、香港（40%）、日本（39%）、チリ（37%）などで多く挙げられています。

日常生活において英語を使用しないという回答が大半を占めたのは、ベトナム（79%）で、「21～50%」の割合で英語を使用するという回答の割合が最も高かったのは、エルサルバドル（62%）、シンガポール（50%）となっています。「51～100%」の割合で英語を使用するという回答の割合が最も高かったのは、米国（37%）です。

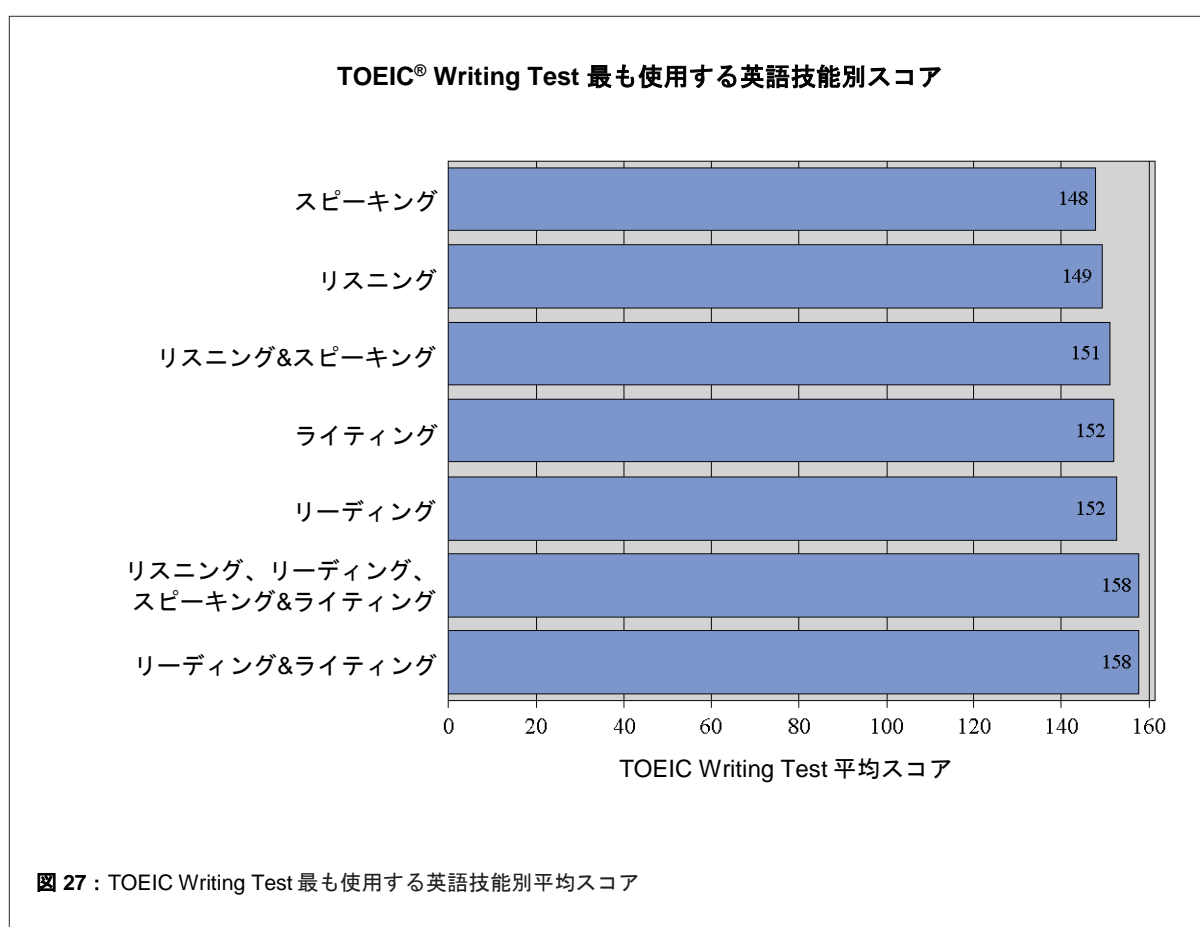




## 最も使用する言語能力

受験者全体の36%は、最も使用する英語技能として「リスニング」を挙げました。この回答は、ベトナム（83%）、オランダ（40%）、ブラジル（38%）、コスタリカ（37%）、日本（35%）で最も多くの割合を占めています。受験者全体の21%は、最も使用する技能として「リーディング」を挙げています。「リーディング」という回答は、中国（44%）、オランダ

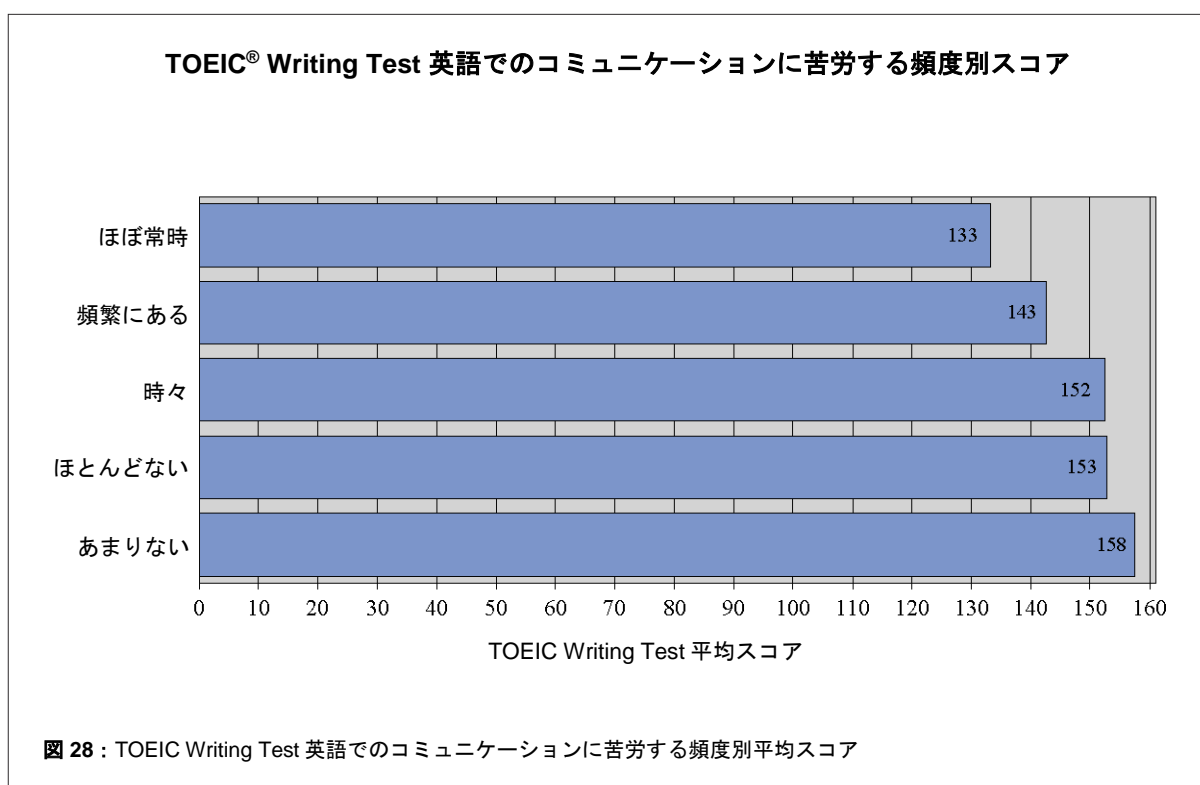
および台湾（いずれも36%）、スペイン（31%）などでその割合が高くなりました。4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を使用していると回答した受験者の割合は全体の14%でした。エルサルバドル（56%）と韓国（29%）では、4技能すべてを使用していると答えた受験者が多数を占めています。



## 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の35%が「時々」、21%が「あまりない」、31%が「ほとんどない」と答えました。

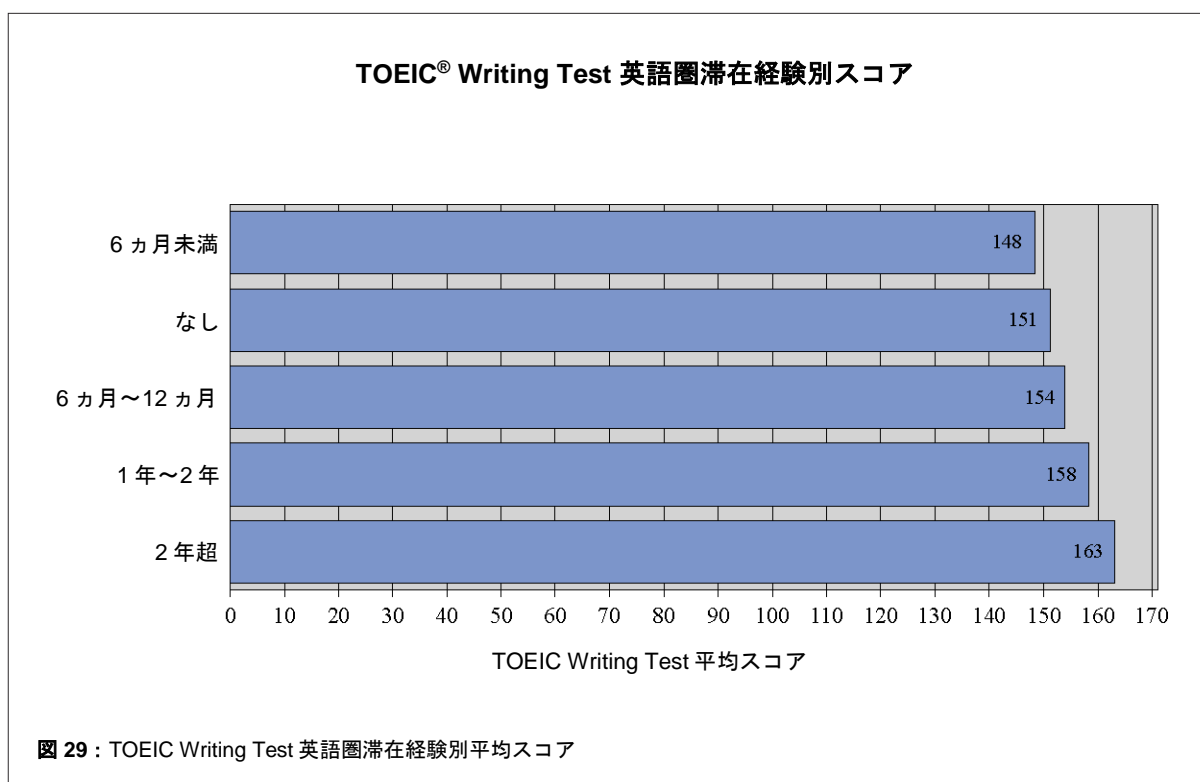
ベトナム（82%）とコスタリカ（48%）では、「ほとんどない」という回答が大部分を占めました。



## 英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対しては、6ヵ月以上の滞在経験があると回答した受験者は全体の15%にとどまり、70%は滞在経験がないと答えています。

2年超の滞在経験があると答えた受験者が特に多いのは、米国（52%）でした。



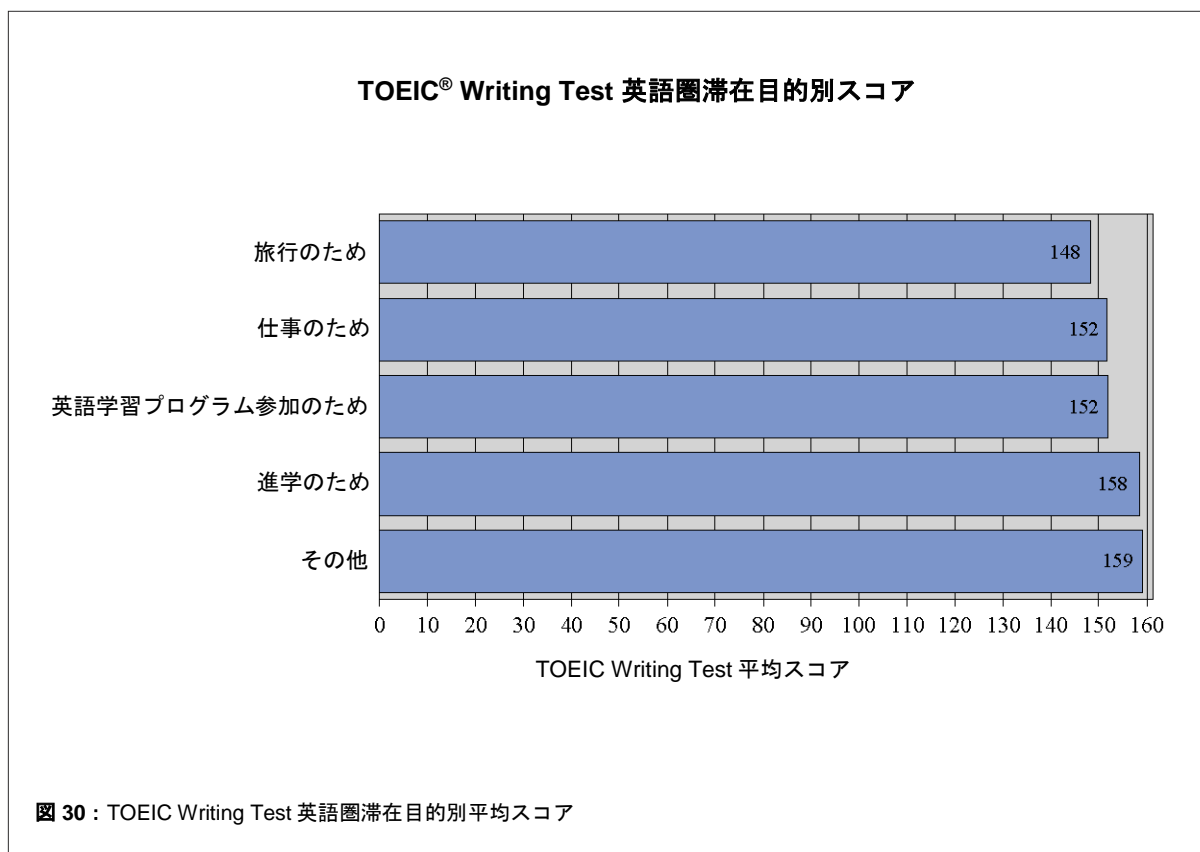
## 英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、49%の受験者が「進学のため」もしくは「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

「進学のため」という回答が多かったのは、エルサルバドル（86%）、シンガポール（75%）、中国（51%）で、「旅行のため」という回答が多かったのはフィリピン（42%）で

す。米国（63%）、チリ（46%）、ドイツ（41%）では、受験者の多くが「仕事のため」と答えています。

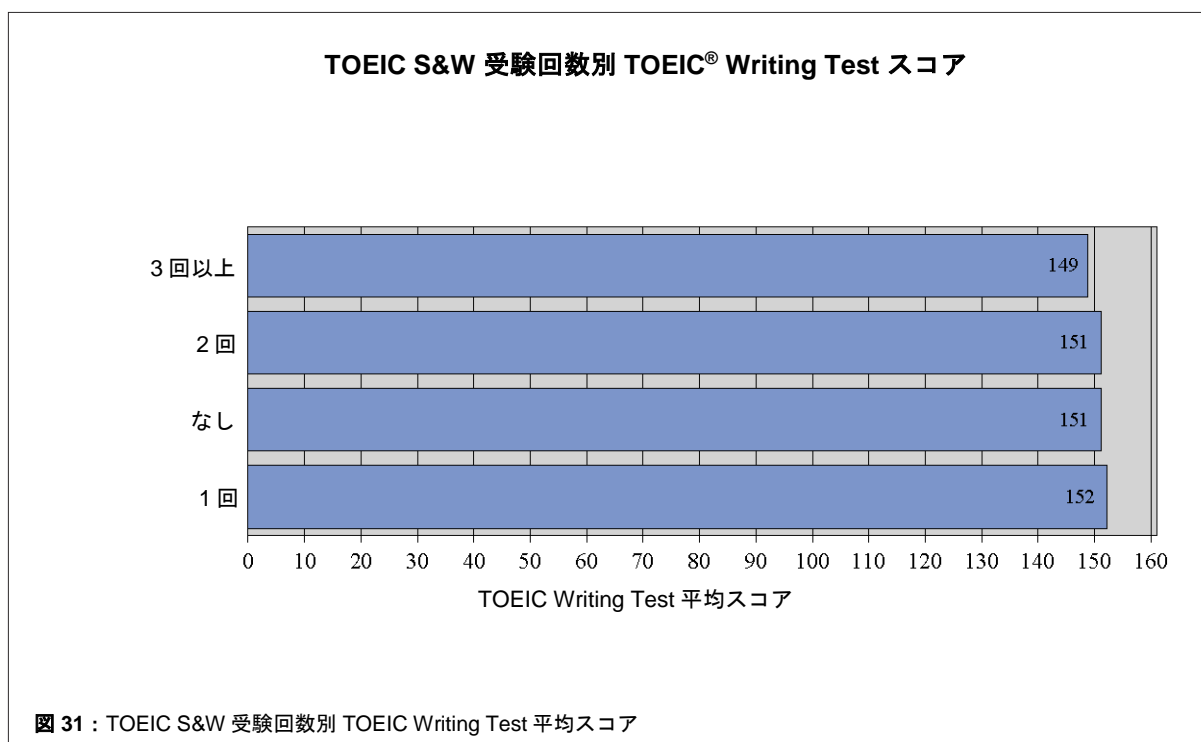
全体で見ると、「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は男性（16%）よりも女性（26%）、「仕事のため」の割合は女性（14%）よりも男性（26%）の方が高くなっています。



## TOEIC® Writing Test の受験経験

TOEIC® Writing Test 受験経験者の割合については、下はベトナム（4%）から上は米国（77%）まで、国・地域によって大きく差が出ました。

全体で見ると、TOEIC Writing Test の受験経験がないと答えた受験者の割合は、男性（68%）よりも女性（75%）の方が高くなりました。これに対して、過去に「3回以上」受験したことがあると答えた受験者の割合は、女性（7%）よりも男性（12%）の方が高くなっています。

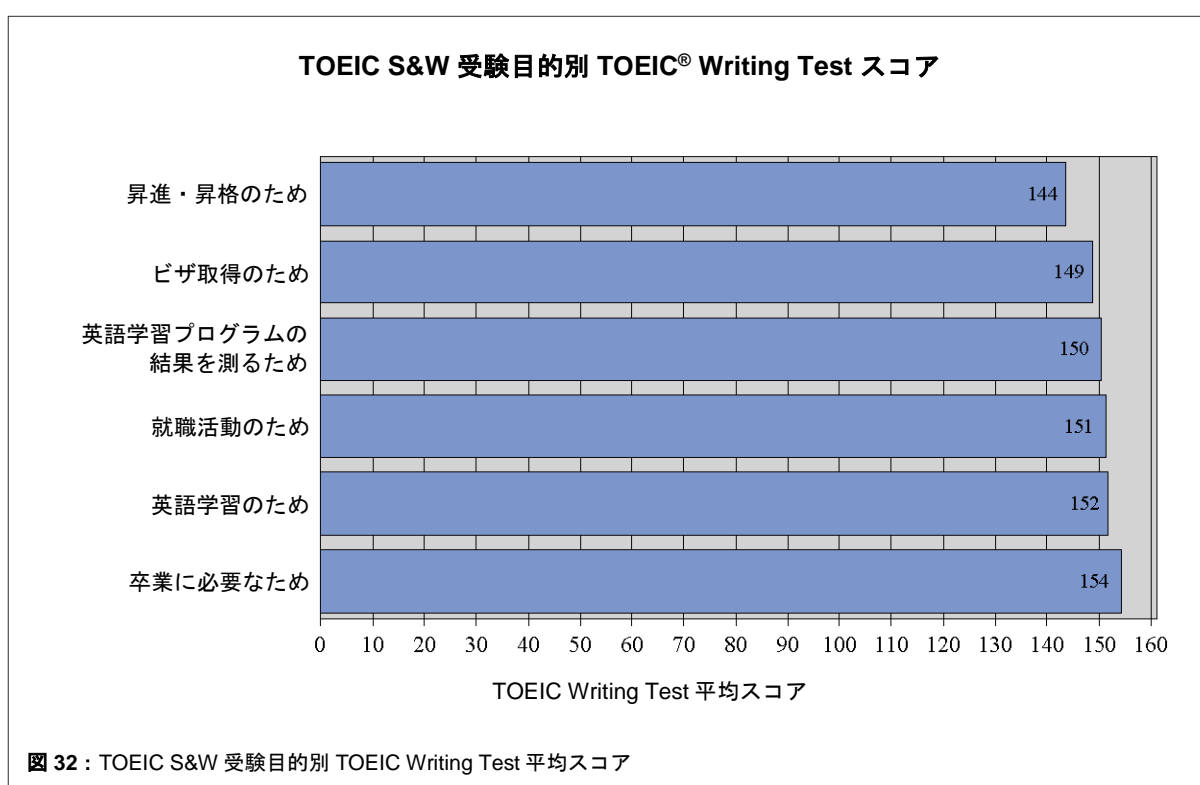


## TOEIC® Writing Test の受験目的

TOEIC Writing Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」(39%)、「英語学習のため」(23%)、「卒業に必要なため」(20%)です。「就職活動のため」と答えた受験者が多かったのは、ベトナム(86%)、米国(82%)、ブラジル(81%)です。韓国では受験者の多く(38%)が「昇進・昇格のため」に受験したと回答しました。日本

(48%)、シンガポール(47%)では、「英語学習のため」と答えた受験者が占めました。

「昇進・昇格のため」と答えた受験者の割合は女性(9%)よりも男性(13%)の方が高く、「就職活動のため」という回答は男性(36%)よりも女性(42%)の方が高くなっています。



## スピーキングスコアとライティングスコアの関連性

TOEIC Speaking Test と TOEIC Writing Test の相関値は、2023 年に両方のテストを受けた受験者のデータに基づく計算によると、約 0.75 でした(本資料 58 ページの「資料 C」に、地域別のスピーキング&ライティングの相関値を掲載)。これは 2 つの評価尺度の間に中程度の相関関係

があることを示しています。TOEIC Speaking Test と TOEIC Writing Test はいずれもビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定するものですが、これらのテストはそれぞれ別個の語学技能を測定します。

## 資料 A

\*toeic.

## バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

### セクション I.

#### 学歴／職歴

- 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
  - 小学校
  - 中学校
  - 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
  - 専門学校／高専
  - 専門学校／高専（高校卒業後）
  - コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
  - 大学（学士号）
  - 大学院（修士号または博士号）
  - 語学学校
- 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。（カッコ内記載の科目は例）
  - 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
  - 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
  - 会計／経営／経済
  - 財務／マーケティング／貿易
  - 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
  - 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
  - 工学／建築
  - その他／なし
- 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
  - フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
  - パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
  - 無職（質問6へ）
  - 全日制学生（質問6へ）

- 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。
  - 農業／漁業／林業／鉱業
  - 建築／ビル設計
  - 製造 - 食品
  - 製造 - 薬品
  - 製造 - 化学
  - 製造 - 繊維／紙
  - 製造 - 石油／原油／ゴム
  - 製造 - 鋼鉄／その他金属
  - 製造 - 機械／精密機械
  - 製造 - 電機
  - 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
  - 製造 - セメント／ガラス
  - 製造 - 衣服
  - 製造 - その他
  - サービス - 教育（高校レベル以下）
  - サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
  - サービス - 裁判／法規／地方／県
  - サービス - 外務
  - サービス - 軍隊／自衛隊
  - サービス - 保健／病院／医療研究
  - サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
  - サービス - その他
  - 公共事業（電気／水）
  - 放送／マスメディア
  - 通信
  - 小売／卸売
  - 商社
  - 会計／銀行／財務／セキュリティ
  - 保険
  - 不動産
  - 運輸
  - その他
- 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。（カッコ内記載の職種は例）
  - 経営者（役員、管理職、理事）
  - 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
  - 教師／講師
  - 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

Copyright © 2023 by ETS. All rights reserved. ETS, the ETS Logo, and TOEIC are registered trademarks of ETS in the United States.

## 資料 A (続き)

\*toeic

バックグラウンドアンケート  
- ページ 2

- E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
- F. マーケティング／販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
- G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
- H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
- I. その他

### セクション II.

#### 英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
- A. 4 年以下
  - B. 4～6 年
  - C. 6～10 年
  - D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
- A. リスニング
  - B. リーディング
  - C. スピーキング
  - D. ライティング
  - E. リスニング&スピーキング
  - F. リーディング&ライティング
  - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
- A. なし
  - B. 1～10%
  - C. 11～20%
  - D. 21～50%
  - E. 51～100%
9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
- A. リスニング
  - B. リーディング
  - C. スピーキング
  - D. ライティング
  - E. リスニング&スピーキング
  - F. リーディング&ライティング
  - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

10. 英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか。
- A. ほとんどない
  - B. あまりない
  - C. 時々
  - D. 頻繁にある
  - E. ほぼ常時
11. 英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。
- A. なし（質問 13 へ）
  - B. 6 カ月未満
  - C. 6 カ月～12 カ月
  - D. 1 年～2 年
  - E. 2 年超～
12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。
- A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
  - B. 英語学習プログラム参加のため
  - C. 旅行のため（仕事に無関係）
  - D. 仕事のため
  - E. その他

### セクション III.

#### TOEIC® S&W 受験経験

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC S&W を受験しましたか。
- A. なし
  - B. 1 回
  - C. 2 回
  - D. 3 回以上
14. 今回の TOEIC S&W の主な受験目的は何ですか。
- A. 就職活動のため
  - B. 昇進・昇格のため
  - C. 英語学習プログラムの結果を測るため
  - D. 将来の学習ニーズを知るため
  - E. 学習中のコース卒業のため
  - F. ビザ取得のため



## 資料 B1

### 2023 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	83%
2. 専攻科目	83%
3. 就業状況	89%
4. 業種	99%
5. 職種	99%
6. 英語学習期間	88%
7. 最も重要視する言語技能	88%
8. 日常生活での英語使用率	88%
9. 最も使用する英語技能	88%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	88%
11. 英語圏滞在期間	88%
12. 英語圏滞在目的	100%
13. TOEIC S&W 受験回数	89%
14. TOEIC S&W 受験目的	89%

\*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

## 資料 B2

### 2023 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	50%
2. 専攻科目	50%
3. 就業状況	64%
4. 業種	96%
5. 職種	95%
6. 英語学習期間	59%
7. 最も重要視する言語技能	59%
8. 日常生活での英語使用率	59%
9. 最も使用する英語技能	59%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	59%
11. 英語圏滞在期間	59%
12. 英語圏滞在目的	99%
13. TOEIC S&W 受験回数	63%
14. TOEIC S&W 受験目的	63%

\*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

## 資料 C

### 地域別スピーキングとライティングスコアの相関

地域	相関値
アジア	0.74
ヨーロッパ	0.65
北米	0.76
南米	0.79



+



[www.ets.org](http://www.ets.org)



Copyright © 2024 by ETS. ETS and TOEIC are registered trademarks of ETS in the United States and other countries. The Eight-Point logo is a trademark of ETS. (andk000025)